

注3

大学番号：私200

[平成22年度設置]

計画の区分：大学の学部の設置

注1

認可

東京工科大学 デザイン学部、医療保健学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 片柳学園

平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シムキョクジチョウ 事務局次長 タナカ ユウスケ 田中 祐輔

職名・氏名 シムキョクキョウムカチョウ 事務局業務課課長 ハヤカワ カズミ 早川 和美

電話番号 042-637-2111

F A X 042-637-2112

e-mail hachi-gyoumu@so.teu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	11
3 施設・設備の整備状況, 経費	47
4 既設大学等の状況	50
5 教員組織の状況	51
6 留意事項に対する履行状況等	79
7 その他全般的事項	82

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 片柳学園

(2) 大学名

東京工科大学

(3) 大学の位置

〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22
 〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(かたやなぎ こう) 片柳 鴻 (昭和31年7月)		
学長	(かるべ いさお) 軽部 征夫 (平成20年6月)		
デザイン学部 学部長	(みやした やすひろ) 宮下 安弘 (平成22年4月)	(いけだ せいじ) 池田 政治 (平成25年4月)	宮下安弘が一身上の都合により学部長を辞任したため(25)
医療保健学部 学部長	(やなぎさわ のぶお) 柳澤 信夫 (平成22年4月)		
医療保健学部 看護学科 学科長	(ささき じゅんこ) 佐々木 順子 (平成22年4月)	(きうち たえこ) 木内 妙子 (平成25年4月)	佐々木順子が一身上の都合により学科長を辞任したため(25)
医療保健学部 臨床工学科 学科長	(やまうら とみお) 山浦 富雄 (平成22年4月)		
医療保健学部 理学療法学科 学科長	(いとう なおえい) 伊藤 直榮 (平成22年4月)	(なかやま たかし) 中山 孝 (平成22年4月)	●●●●が平成21年11月に死亡したため(22)
医療保健学部 作業療法学科 学科長	(やなぎさわ のぶお) 柳澤 信夫 (平成22年4月)	(やまざき いくこ) 山崎 郁子 (平成24年4月)	作業療法学科長任期満了により、平成24年度から変更(24)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
- (例) 平成 23 年度に報告済の内容 → (23)
平成 25 年度に報告する内容 → (25)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

<デザイン学部>

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
デザイン学部 デザイン学科 学士(デザイン)	4年	200人	— 年次人	800人	

<医療保健学部>

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 看護学科 学士(看護学)	4年	80人	— 年次人	320人	
臨床工学科 学士(臨床工学)	4年	80人	—	320人	
理学療法学科 学士(理学療法)	4年	80人	—	320人	
作業療法学科 学士(作業療法)	4年	40人	—	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

対象年度 区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	200人 (-) [-]	—人	200人 (-) [-]	—人	200人 (-) [-]	—人	200人 (-) [-]	—人	1.01倍	
志願者数	494 (-) [1]	— (-) [-]	504 (-) [-]	— (-) [-]	535 (2) [1]	— (-) [-]	731 (-) [3]	— (-) [-]		
受験者数	464 (-) [1]	— (-) [-]	488 (-) [-]	— (-) [-]	507 (2) [1]	— (-) [-]	711 (-) [3]	— (-) [-]		
合格者数	320 (-) [1]	— (-) [-]	361 (-) [-]	— (-) [-]	451 (2) [1]	— (-) [-]	470 (-) [3]	— (-) [-]		
B 入学者数	213 (-) [1]	— (-) [-]	193 (-) [-]	— (-) [-]	192 (2) [1]	— (-) [-]	216 (-) [3]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.06		0.96		0.97		1.08			

<医療保健学部 看護学科>

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人	一人	80人	一人	80人	一人	80人	一人	1.05倍	
	(-)		(-)		(-)		(-)			
	[-]		[-]		[-]		[-]			
志願者数	628	-	1,184	-	1,885	-	1,542	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	586	-	1,129	-	1,793	-	1,489	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	148	-	177	-	191	-	237	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	87	-	86	-	84	-	83	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	1.08		1.07		1.05		1.03			

<医療保健学部 臨床工学科>

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人	一人	80人	一人	80人	一人	80人	一人	1.05倍	
	(-)		(-)		(-)		(-)			
	[-]		[-]		[-]		[-]			
志願者数	247	-	637	-	921	-	919	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[3]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	234	-	609	-	895	-	895	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[2]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	145	-	188	-	182	-	193	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[2]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	82	-	89	-	84	-	83	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[2]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.11		1.05		1.03			

<医療保健学部 理学療法学科>

区分	対象年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人	一人	80人	一人	80人	一人	80人	一人	1.06倍	
	(-)		(-)		(-)		(-)			
	[-]		[-]		[-]		[-]			
志願者数	628	-	1,076	-	1,530	-	1,903	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	598	-	1,041	-	1,490	-	1,862	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	154	-	188	-	198	-	175	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	81	-	85	-	87	-	88	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	1.01		1.06		1.08		1.10			

<医療保健学部 作業療法学科>

区分	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	40人	—人	40人	—人	40人	—人	40	—人	1.03倍	
	(—)		(—)		(—)		(—)			
	[—]		[—]		[—]		[—]			
志願者数	128	—	301	—	446	—	475	—		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
受験者数	122	—	296	—	418	—	467	—		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
合格者数	68	—	93	—	99	—	119	—		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
B 入学者数	41	—	42	—	42	—	41	—		
	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]		
入学定員超過率 B/A	1.02		1.05		1.05		1.02			

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[1] 213	[-] -	[-] 206	[-] -	[1] 210	[-] -	[4] 241	[-] -		
2年次	/		[1] 196	[-] -	[-] 183	[-] -	[-] 181	[-] -		
3年次			/		/		[1] 184	[-] -	[-] 165	[-] -
4年次							/		/	
計			[1] 213	[1] 402	[2] 577	[5] 763				

<医療保健学部 看護学科>

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] 87	[-] -	[-] 87	[-] -	[-] 84	[-] -	[-] 83	[-] -		
2年次	/		[-] 85	[-] -	[-] 87	[-] -	[-] 87	[-] -		
3年次			/		/		[-] 81	[-] -	[-] 83	[-] -
4年次							/		/	
計			[-] 87	[-] 172	[-] 252	[-] 331				

<医療保健学部 臨床工学科>

学年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	[-] 82	[-] -	[2] 89	[-] -	[-] 84	[-] -	[-] 83	[-] -		
2年次	/		[-] 80	[-] -	[2] 89	[-] -	[-] 83	[-] -		
3年次			/		/		[-] 74	[-] -	[2] 90	[-] -
4年次							/		/	
計			[-] 82	[2] 169	[2] 247	[2] 326				

<医療保健学部 理学療法学科>

対象年度 学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 81	[-] -	[-] 86	[-] -	[-] 88	[-] -	[-] 89	[-] -	
2年次	/		[-] 78	[-] -	[-] 85	[-] -	[-] 81	[-] -	
3年次			/		/		[-] 73	[-] -	[-] 88
4年次	/						/		[-] [-]
計			[-] 81		[-] 164				[-] 246

<医療保健学部 作業療法学科>

対象年度 学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 41	[-] -	[-] 43	[-] -	[-] 42	[-] -	[-] 41	[-] -	
2年次	/		[-] 38	[-] -	[-] 41	[-] -	[-] 42	[-] -	
3年次			/		/		[-] 34	[-] -	[-] 44
4年次	/						/		[-] [-]
計			[-] 41		[-] 81				[-] 117

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	213 人	24 人	平成22年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4人)	11.3 %
			平成23年度	11 人	0 人	就学意欲の低下(1人) 他の教育機関への入学・転学(3人) 就職(2人) 学生個人の心身に関する事情(1人) 経済的理由(4人)	
			平成24年度	9 人	0 人	就学意欲の低下(2人) 他の教育機関への入学・転学(4人) 就職(1人) 学生個人の心身に関する事情(1人) 経済的理由(1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	193 人	18 人	平成23年度	8 人	0 人	学力不足(1人) 他の教育機関への入学・転学(4人) 就職(1人) 経済的理由(2人)	9.3 %
			平成24年度	10 人	0 人	就学意欲の低下(1人) 他の教育機関への入学・転学(5人) 就職(1人) 経済的理由(3人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	194 人	9 人	平成24年度	9 人	0 人	学力不足(2人) 就学意欲の低下(1人) 他の教育機関への入学・転学(6人)	4.6 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	216 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
合 計	816 人	51 人					6.3 %

<医療保健学部 看護学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	87 人	5 人	平成22年度	1 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(1人)	5.7 %
			平成23年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2人) 学生個人の心身に関する情報(1人)	
			平成24年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	86 人	3 人	平成23年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)	3.5 %
			平成24年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人) 就職(1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	84 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	83 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
合 計	340 人	8 人					2.4 %

<医療保健学部 臨床工学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留學生数		
平成22年度 入学者	82 人	7 人	平成22年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)	8.5 %
			平成23年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2人) 他の教育機関への入学・転学(1人)	
			平成24年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人) 就職(1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	89 人	4 人	平成23年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人) 就職(1人)	4.5 %
			平成24年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	84 人	1 人	平成24年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)	1.2 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	83 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
合 計	338 人	12 人					3.6 %

<医療保健学部 理学療法学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留學生数		
平成22年度 入学者	81 人	10 人	平成22年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(2人)	12.3 %
			平成23年度	4 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4人)	
			平成24年度	4 人	0 人	学力不足(1人) 他の教育機関への入学・転学(2人) 学生個人の心身に関する事情(1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	85 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)	1.2 %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	87 人	5 人	平成24年度	5 人	0 人	学力不足(1人) 就学意欲の低下(1人) 他の教育機関への入学・転学(3人)	5.7 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	88 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
合 計	341 人	16 人					4.7 %

<医療保健学部 作業療法学科>

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留學生数		
平成22年度 入学者	41 人	7 人	平成22年度	3 人	0 人	家庭の事情(2人) 就学意欲の低下(1人)	17.1 %
			平成23年度	4 人	0 人	学力不足(1人) 他の教育機関への入学・転学(3人)	
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	0 人	0 人		
平成23年度 入学者	42 人	3 人	平成23年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)	7.1 %
			平成24年度	2 人	0 人	学力不足(1人) 他の教育機関への入学・転学(1人)	
			平成25年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	42 人	1 人	平成24年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)	2.4 %
			平成25年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	41 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0 %
合 計	166 人	11 人					6.6 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

2 授業科目の概要

<デザイン学部 デザイン学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
基礎 教育 科目	哲学	1前		2							兼 1		
	芸術論	1前		2		1							
	宗教学	2前		2							兼 1		
	心理学	1後		2							兼 1		
	倫理学	2後		2							兼 1		
	政治学	1前		2							兼 1		
	経済学	1前		2							兼 1		
	法学	1後		2							兼 1		
	科学論	1後		2							兼 1		
	コミュニケーション論	2前		2							兼 1		
	心身 ウェル ネス	栄養と健康	1前		2							兼 1	
		スポーツ・コンディショニング	1後		2							兼 1	
		集中実技 I	1前		1							兼 1	
		集中実技 II	1後		1							兼 1	
	英 語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2			1						
		フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2			1						
		英語インテンシブ I	2前		1		1						
		英語インテンシブ II	2後		1		1						
		英語インテンシブ III	3前		1		1						
		英語インテンシブ IV	3後		1		1						
	コンピュ ータ	コンピュータリテラシー I	1前	2			1						
		コンピュータリテラシー II	1後	2				1					
		コンピュータ概論 I	1前		2		1						
		コンピュータ概論 II	1後		2		1						
	自然科学	教理造形	2前		2							兼 1	
		統計学	2前		2							兼 1	
		環境と科学	1前 1後		2							兼 1	学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)
		生物の基礎	1前		2							兼 1	
化学の基礎		1前 1後		2							兼 1	学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)	
物理の基礎		1後		2							兼 1		
数学の基礎		1前		2							兼 1		
小計 (31科目)		—	8	48		3	1						

<デザイン学部 デザイン学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考			
			必修	選択自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	専門共通科目	デザイン論	1前	2		1 0 1	1					当初、●●●●が、平成23年4月から専任教員（教授）として就任し、平成22年度は兼任講師として担当することを予定していたが、健康上の理由により、平成22年2月に就任辞退。平成22年度の担当教員を、石橋宏准教授に変更（22） ●●●●（専任教員・教授）が就任を辞任したため、担当者を変更（23） 担当 及部克人（教授） 平成22年9月教員審査済 判定 可（23）	
		デザイン史	1後	2		1						当初、●●●●が、平成23年4月から専任教員（教授）として就任し、平成22年度は兼任講師として担当することを予定していたが、健康上の理由により、平成22年2月に就任辞退。平成22年度の担当教員を、若林尚樹教授に変更（22） ●●●●（専任教員・教授）が就任を辞任したため、担当者を変更（23） 担当 及部克人（教授） 平成22年9月教員審査済 判定 可（23）	
		デザイン概説Ⅰ（基礎）	1前	2			2	3	1				
		デザイン概説Ⅱ（応用）	1後	2			3 2 3	1					
		デザインと社会論	2前	2				1					
		現代アート論	3前	2				1					
		美術史	2後	2			1						
		企業研究	2後	2	1		1						
		地域とデザイン	3後 3前	1	1		1						
		伝達論	2前	2				1					
		構成論	2前	2				1					
		演出論	2前	2						1			
		デザイン基礎科目	感性演習	感性演習Ⅰ（描く）	1①・②・③・④	3		1		1	1		
感性演習Ⅰ（つくる）	1①・②・③・④			3			1		1				
感性演習Ⅰ（関係づける）	1①・②・③・④			3			1						
感性演習Ⅰ（伝える）	1①・②・③・④			3				1					
感性演習Ⅱ（描く）	2①・②・③・④			3		1		1	1				
感性演習Ⅱ（つくる）	2①・②・③・④			3			1		1				
感性演習Ⅱ（関係づける）	2①・②・③・④			3			1						
感性演習Ⅱ（伝える）	2①・②・③・④			3				1					
関連科目	色彩概論			1前	2					1			
	素材と加工			1後	2				1				
	動体構成論	2後	2	2				1					
	図法および製図Ⅰ（基礎）	2前	2	2			1						
	図法および製図Ⅱ（応用）	3前	2	2									
	空間構成論	2前	2	2		1							

学生への講義内容の理解度を高めるため(25)

<デザイン学部 デザイン学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
デザイン専門科目	スキル 演習	スキル演習Ⅰ (Webページデザイン)	2①・②・③・④		1							兼 1		
		スキル演習Ⅰ (DTP)	2①・②・③・④		1							兼 1		
		スキル演習Ⅰ (画像加工)	2①・②・③・④		1						1		兼 1	
		スキル演習Ⅰ (イラストレーション)	2①・②・③・④		1						1		兼 1	
		スキル演習Ⅰ (グラフィックプログラミング)	2①・②・③・④		1								兼 1	
		スキル演習Ⅰ (写真撮影技法)	2①・②・③・④		1								兼 1	
		スキル演習Ⅰ (イメージデザイン)	2①・②・③・④		1		1						兼 1	
		スキル演習Ⅰ (タイポグラフィ)	2①・②・③・④		1		1	1					兼 1	
		スキル演習Ⅱ (インタラクティブWebデザイン)	3①・②・③・④		1		1						兼 1	
		スキル演習Ⅱ (エディトリアルデザイン)	3①・②・③・④		1						1		兼 1	
		スキル演習Ⅱ (映像編集)	3①・②・③・④		1						1		兼 1	
		スキル演習Ⅱ (プロダクトシミュレーション)	3①・②・③・④		1						1		兼 1	
		スキル演習Ⅱ (アニメーション)	3①・②・③・④		1						1		兼 1	
		スキル演習Ⅱ (映像撮影技法)	3①・②・③・④		1								兼 1	
	スキル演習Ⅱ (サウンドデザイン)	3①・②・③・④		1			1					兼 1		
	スキル演習Ⅱ (空間シミュレーション)	3①・②・③・④		1		1				1		兼 1		
	関連科目	写真論	2後		2								兼 1	
		イラストレーション論	2後		2						1		兼 1	
		映像論	2後		2		1						兼 1	
		アニメーション論	3前		2						1		兼 1	
		情報デザイン論	3前		2						1		兼 1	
		サウンドデザイン論	3前		2				1				兼 1	
	CAD設計論	3後		2								兼 1		
	演習	視覚と伝達専門演習Ⅰ	3①・②・③	3			1	1	1	1			●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) (担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可(23))	
		映像と構成専門演習Ⅰ	3①・②・③	3			1	1	1				●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) (担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可(23))	
		空間と演出専門演習Ⅰ	3①・②・③	3			1	1	1				●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) (担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可(23))	
視覚と伝達専門演習Ⅱ		3④	3			1	1	1	1			●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) (担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可(23))		
映像と構成専門演習Ⅱ		3④	3			1	1	1				●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) (担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可(23))		
空間と演出専門演習Ⅱ		3④	3			1	1	1				●●●● (専任教員・教授) が就任を辞任したため、担当者を変更(23) (担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定 可(23))		
専門		知的財産論	3前		2								兼 1	
		マネジメント	3前		2								兼 1	
		認知心理学	3後		2						1		兼 1	
		プレゼンテーション技法	2後		2						1		兼 1	
	マーケティング論	3前		2								兼 1		
	経営・経済論	3後		2								兼 1		
	インターラクシオンデザイン	2後		2		1						兼 1		
	編集論	2前		2						1		兼 1		
	広告論	3前		2		1						兼 1		
	CM表現論	2後		2						1		兼 1		
関連科目	メディアアート	3後		2					1			兼 1	学生への講義内容の理解度を高めるため(23)	
	ピクトグラムデザイン	2後		2					1			兼 1		
	色彩応用論	2前		2					1			兼 1		
	プロダクトデザイン論	2後		2					1			兼 1		
	空間デザイン論	3前		2					1			兼 1		
	企画と展示	3前		2					1			兼 1		
	コンピュータグラフィックス論	2後		2								兼 1		
	CM表現論	2後		2					1			兼 1		
	メディアアート	3後		2					1			兼 1		

<デザイン学部 デザイン学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	コース専門科目 専門研究	視覚と伝達専門研究	4前		4		2	2	2	1		●●●●(専任教員・教授)が就任を辞任したため、担当者を変更(23) 担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定可(23)
		映像と構成専門研究 空間と演出専門研究	4前 4前		4 4		2 2	2 2	2 2	1 1		
	卒業研究	視覚と伝達卒業研究	4後		4		2	2	2	1		●●●●(専任教員・教授)が就任を辞任したため、担当者を変更(23) 担当 及部克人(教授) 平成22年9月教員審査済 判定可(23)
		映像と構成卒業研究 空間と演出卒業研究	4後 4後		4 4		2 2	2 2	2 2	1 1		
		小計(78科目)	—	51	113		7	7	6	3		
		合計(109科目)	—	59	161		9	7	6	3		14

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<デザイン学部 デザイン学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
24	85	0	109	24	85	0	109	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{109} = \boxed{0.00}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 看護学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
基礎教育科目	哲学	1前		2							兼1	
	芸術論	1前		2							兼1	
	科学論	1後		2							兼1	
	心理学	1後		2							兼1	
	倫理学	2後		2							兼1	
	宗教学	2前		2							兼1	
	政治学	1前		2							兼1	
	経済学	1前		2							兼1	
	法学	1後		2							兼1	
	コミュニケーション論	2前		2							兼1	
	英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2								兼1
		フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2								兼1
		英語インテンシブI	2前		1							兼1
		英語インテンシブII	2後		1							兼1
	心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2							兼1
		スポーツ・コンディショニング	1後		2							兼1
		集中実技 I	1前		1							兼1
		集中実技 II	1後		1							兼1
	コンピュータ	コンピュータリテラシー演習I	1前	1								兼1
		コンピュータリテラシー演習II	1後		1							兼1
		コンピュータ概論I	1前	2								兼1
		コンピュータ概論II	1後		2							兼1
		応用コンピュータI	2前		2							兼1
		応用コンピュータII	2後		2							兼1
		応用コンピュータ演習I	2前		1							兼1
		応用コンピュータ演習II	2後		1							兼1
	人間形成	フレッシュヤーズゼミ	1通	2			9	4	2	0	0	
	自然科学	医療科学の基礎 I	1前	2								兼3
		医療科学の基礎 II	1後		2							兼3
		生物の基礎	1前		2							兼1
		化学の基礎	1前 1後		2							兼1
		物理の基礎	1後		2							兼1
		数学の基礎	1前		2							兼1
		統計学	2前		2							兼1
小計 (34科目)		—	11	49	0	9	4	2	0	0		

学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
人間社会と医療	癒しのケア学	1前	2								兼 1		
	公衆衛生学	2前 2後	2			1						学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(25)	
	疫学	2後	2			1							
	保健医療福祉論	1後	2			1							
	生命倫理	1後	2								兼 1		
	健康環境論	3前		新:2 旧:1							兼 1	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から単位数を変更(24)	
	発達心理学	2前		2							兼 1		
	臨床心理学	2後		2							兼 1		
	人間学	2前		1							兼 1		
	家族社会学	2前		2							兼 1		
	医療経済学	2後		2							兼 1		
	専門基礎科目	人体構造学	1前	2								兼 2	
		人体機能学	1後	2								兼 1	
		栄養代謝学	1後	2								兼 1	
		臨床微生物・免疫学	2前	2								兼 1	
		病理病態学Ⅰ(総論)	1後	2								兼 1	
		病理病態学Ⅱ(各論)	2前	2								兼 1	
		疾病治療論Ⅰ(外科系医学)	2後 2前	2								兼 1	「疾病治療論Ⅱ(内科系医学)」を2年前期に変更したため、「疾病治療論Ⅰ(外科系医学)」の開講期を2年次前期から2年後期に変更(23)
		疾病治療論Ⅱ(内科系医学)	2前 2後	2								兼 1	学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を2年後期から2年前期に変更(23)
疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)		2前	2			1					兼 3		
臨床薬理学		2後	2								兼 1		
臨床工学演習		2後	1							4	兼 1		
臨床栄養学		3前		2							兼 1		
画像評価学		2後		1							兼 1		
医学概論		1前		2							兼 1		
リハビリテーション概論		2前		1							兼 1		
小計(26科目)				31	新:17 旧:16	0	2	0	0	0	4		

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
看護の基礎	看護学概論	1前	2			1								
	基礎看護技術Ⅰ（看護共通技術）	1前 1後	1			2	2					2	学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)	
	基礎看護技術Ⅱ （日常生活の援助技術Ⅰ）	1後	1			2	2					2		
	基礎看護技術Ⅲ （日常生活の援助技術Ⅱ）	2前	1			2	2					2		
	基礎看護技術Ⅳ （診療の援助技術）	2後	1			2	2					2		
	看護理論・看護過程	2前・後	2					1					2	
	看護倫理	2前	1			1								
	ヘルスアセスメントⅠ（Basic）	2前	1			1							4	
	ヘルスアセスメントⅡ（Advance）	2後	2			4							4	
	臨床看護学概論Ⅰ（母性・小児）	2前	2			2								
	臨床看護学概論Ⅱ（成人・高齢者）	2前	2			2								
	精神看護学概論	2後	2			1								
	在宅看護学概論	2後	1							1				
新カリキュラム：公衆衛生看護学概論 旧カリキュラム：地域看護学概論	2前	2			1								保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(24) 担当 佐々木順子（教授） 平成23年9月 教員審査済 判定 可	
看護工学	2前	1											兼 1	
感染制御ケア	2後	1											兼 1	
専門科目	母性看護学Ⅰ （ライフステージと看護）	2後	1			1						1		
	母性看護学Ⅱ （マタニティサイクルと看護）	3前	1			1						1		
	小児看護学Ⅰ （子どもと家族の生活支援）	2後	1			1						1		
	小児看護学Ⅱ （病気の子どものアセスメントと看護の実際）	3前	1			1						1	兼 1	
	成人看護学Ⅰ （周手術期ケア・クリティカルケア）	2後	2			2					1 2	2	●●●●（助教）が一身上の都合により平成24年3月に退職(24) 〔他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月 までに補充予定 当初の予定どおり、教授2名が担当するため支障はない(25)	
	成人看護学Ⅱ （生活調整・生活再構築）	3前	2			2					2 1 2	2	●●●●（助教）が一身上の都合により平成24年3月に退職(24) 〔他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月 までに補充予定 ●●●●（助教）が退職のため 担当教員を変更(25) 〔担当 瀬尾昌枝(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可	
	成人看護技術演習	3前	1			2					2 1 2	2	●●●●（助教）が一身上の都合により平成24年3月に退職(24) 他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月 までに補充予定 ●●●●（助教）が退職のため 担当教員を変更(25) 〔担当 瀬尾昌枝(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可	
看護の方法														

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
看護の方法 専門科目	高齢者看護学Ⅰ (高齢者の暮らしへの看護)	2後	1			1		1		1		
	高齢者看護学Ⅱ (高齢者のアセスメントと看護の実際)	3前	1			1		1		1		
	精神看護学	3前	2			1	1			1		
	在宅看護学	3前	2					1		1		
	新カリキュラム： 公衆衛生看護学Ⅰ (公衆衛生看護方法論) 旧カリキュラム： 地域看護学Ⅰ (地域看護方法論)	2後	2			1	1		1	2	2	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(24) 〔担当 佐々木順子(教授) 平成23年9月 教員審査済 判定 可〕 〔担当 三好智美(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可〕 〔担当 武澤千尋(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可〕 ●●●●(助教)が一身上の都合により平成23年9月に退職(24) 〔他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定〕 ●●●●(助教)が退職のため担当教員を変更(25) 〔担当 五十嵐千代(准教授) 平成24年9月 教員審査済 判定 可〕
	新カリキュラム： 公衆衛生看護学Ⅱ (対象別保健活動の展開) 旧カリキュラム： 地域看護学Ⅱ (対象別保健活動の展開)	3前	2			1	1		1	2	2	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(24) 〔担当 佐々木順子(教授) 平成23年9月 教員審査済 判定 可〕 〔担当 三好智美(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可〕 〔担当 武澤千尋(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可〕 ●●●●(助教)が一身上の都合により平成23年9月に退職(24) 〔他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定〕 ●●●●(助教)が退職のため担当教員を変更(25) 〔担当 五十嵐千代(准教授) 平成24年9月 教員審査済 判定 可〕
	健康学習論	2後前	2			1						学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(25)
	産業看護	3前	1				1					
	医療・看護情報学	3前	1									兼 1
	家族看護学	2前		2								兼 1
看護の実践	基礎看護学実習Ⅰ(人間形成)	1後	1			2	2		2	5		
	基礎看護学実習Ⅱ(看護過程)	2後	2			2	2		2	5		
	母性看護学実習	3後	2			1			2	1	実習指導体制の充実を図り教員(助教)を追加(25) 〔担当 徳留静代(助教) 柴田真希(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕	

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
看護の専門科目	小児看護学実習	3後	2			1				1	1	●●●●(助教)が、一身上の都合により平成23年3月に退職(23) ●●●●(助教)が退職のため、担当者を変更(24) 担当 太田浩子(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可	
	成人看護学実習	3後	4			2				2	2	●●●●(助教)が一身上の都合により平成24年3月に退職(24) 他に担当者が複数いるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定 ●●●●(助教)が退職のため 担当教員を変更(25) 担当 瀬尾昌枝(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可	
	高齢者看護学実習	3後	3			1		1			1		
	精神看護学実習	3後	2			1	1				1		
	在宅看護学実習	4前	2					1	1	1	1		
	新カリキュラム： 公衆衛生看護学実習Ⅰ (産業看護) 旧カリキュラム： 地域看護学実習	4前	新：1 旧：3			1	1				2	2	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称及び単位数を変更(24) ●●●●(助教)が一身上の都合により平成23年9月に退職(24) 他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定 ●●●●(助教)が退職のため、担当者を変更(25) 担当 堀内朋子(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	新カリキュラム： 公衆衛生看護学実習Ⅱ (地域連携)	4前		1		1	1			1		保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目を追加(24)	
	看護管理学	4後	1			1							
	災害看護学	4後	1									兼 1	
	看護研究	3後	1			9	1						
卒業研究	4通	2			9	4	2						

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 看護の統合	統合看護実習	4後		新:3 旧:2		9	4	2			10 6 7 8	6 7 8	<p>●●●● (助教) が、一身上の都合により平成23年3月に退職(23)</p> <p>●●●● (助教) が退職のため、担当者を変更(24)</p> <p>担当 太田浩子(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可 平成24年4月 太田浩子(助手)を助教として採用</p> <p>保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から単位数を変更(24)</p> <p>●●●● (助教) 及び●●●● (助教) が一身上の都合により退職(24)</p> <p>他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定</p> <p>●●●● (助教) 及び●●●● (助教) が退職のため、担当者を変更(25)</p> <p>担当 堀内朋子(助教) 瀬尾昌枝(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 平成25年4月 瀬尾昌枝(助手)を助教として採用</p> <p>実習指導体制の充実を図り教員(助教)を追加(25)</p> <p>担当 徳留静代(助教) 柴田真希(助教) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 平成25年4月 柴田真希(助手)を助教として採用</p> <p>柴田真希の職位変更(助手から助教)に伴い、平成25年4月 川上文子(助手)を採用(25)</p>
	国際看護学	4後		1				1					
	看護教育学	4後		1		1							
	医療安全・人間工学概論	3前		2									兼 1

<医療保健学部 看護学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護の発展 専門科目	先端医療総合講義	3,4前		2								兼1
	英語講読	4前		1		8	4	2				
	地域ケアシステム論	3,4後		新:2 旧:1		1						保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から単位数を変更(24)
	新カリキュラム: 産業保健学	4後		2		1	1					保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目を追加(24)
	新カリキュラム: 産業看護演習	3前		1			1					保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目を追加(24) 担当 五十嵐千代(准教授) 平成23年9月 教員審査済 判定 可
	新カリキュラム: 公衆衛生看護学実習Ⅲ (行政看護)	4前		4		1	1		1			保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目を追加(24)
	看護情報システム論	4後		1								兼1
	リプロダクティブ・ヘルスケア	4前 4後		1		1						学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(25)
	ファミリーサポート論	4前		1		1						
	認知症ケア	3前		1		1						
	リハビリテーションケア	4前		1		1						
	バリアティブケア	4後		1								兼1
	新:63 小計 (旧:59科目)	—		新:73 旧:74	新:25 旧:16	0	9	4	2	10 6 7 8	6 7 8	
新:123 合計 (旧:119科目)	—		新:115 旧:116	新:91 旧:81	0	9	4	2	10 6 7 8	6 7 8		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<医療保健学部 看護学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 68	科目 51	科目 0	科目 119	新カリキュラム 科目 68 [0]	科目 55 [4]	科目 0 [0]	科目 123 [0]	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目を追加(24)
				旧カリキュラム 科目 68 [0]	科目 51 [0]	科目 0 [0]	科目 119 [0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
「該当なし」

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{119} = 0.00$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 臨床工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会	哲学	1前		2							兼 1	
	芸術論	1前		2							兼 1	
	科学論	1後		2							兼 1	
	心理学	1後		2							兼 1	
	倫理学	2後		2							兼 1	
	宗教学	2前		2							兼 1	
	政治学	1前		2							兼 1	
	経済学	1前		2							兼 1	
	法学	1後		2							兼 1	
	コミュニケーション論	2前		2							兼 1	
英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2								兼 1	
	フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2								兼 1	
	英語インテンシブI	2前		1							兼 1	
	英語インテンシブII	2後		1							兼 1	
心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2							兼 1	
	スポーツ・コンディショニング	1後		2							兼 1	
	集中実技 I	1前		1							兼 1	
	集中実技 II	1後		1							兼 1	
基礎教育科目	コンピュータリテラシー演習I	1前	1								兼 1	
	コンピュータリテラシー演習II	1後	1								兼 1	
	コンピュータ概論I	1前	2								兼 1	
	コンピュータ概論II	1後	2								兼 1	
	応用コンピュータ I	2前		2							兼 1	
	応用コンピュータ II	2後		2							兼 1	
	応用コンピュータ演習 I	2前		1							兼 1	
	応用コンピュータ演習 II	2後		1							兼 1	
人間形成	フレッシュヤーズゼミ	1通	2			5	2	3	3	0	平成24年3月 ●●●●(教授)が退職のため、 担当者を変更(24) 担当 片倉寛(教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可	
自然科学	医療科学の基礎 I	1前	2				1	1			兼 1	
	医療科学の基礎 II	1後	2				1	1			兼 1	
	生物の基礎	1前		2			1					
	化学の基礎	1前 1後	2					1				学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)
	物理の基礎	1後	2			1						
	数学の基礎	1前		2		1						
	統計学	2前	2			1						
小計(34科目)		一	22	38	0	5	2	3	3	0		

<医療保健学部 臨床工学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体解剖学Ⅰ	1前	2			1						
	人体解剖学Ⅱ	1後	2			1						
	生命倫理	1後	2								兼 1	
	生理学Ⅰ	1後	2								兼 1	
	生理学Ⅱ	2前	2								兼 1	
	臨床生化学	2前	2								兼 1	
	臨床薬理学	2後	2								兼 1	
	病理学	2後	2			1						
	臨床微生物・免疫学	2前	2								兼 1	
	基礎医学実習	2後 2前	2					2				学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(25)
	医療情報演習	4後		1							兼 1	
	医療経済学	2後		2							兼 1	
	臨床心理学	2後	2								兼 1	
	公衆衛生学	2前	2								兼 1	
	システム制御工学	3前	2				1					
	電磁気学	2前	2			1						
	機械工学Ⅰ	2後	2				1					
	機械工学Ⅱ	3前	2				1					平成24年3月 ●●●●(教授)が退職のため、 担当者を変更(24) 〔担当 片倉寛(教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	電気工学	2前 2後	2					1				学生への講義内容の理解度を高めるため(23)
	工学実験Ⅰ	2前	2				3	1				平成24年3月 ●●●●(教授)が退職のため、 担当者を変更(24) 〔担当 片倉寛(教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	工学実験Ⅱ	2後	2				3	1				平成24年3月 ●●●●(教授)が退職のため、 担当者を変更(24) 〔担当 片倉寛(教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	電子工学Ⅰ	2前	2				1					
	電子工学Ⅱ	2後	2				1					
	工学演習Ⅰ	3後	1				2	1				平成24年3月 ●●●●(教授)が退職のため、 担当者を変更(24) 〔担当 片倉寛(教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	工学演習Ⅱ	4前	1				2	1				平成24年3月 ●●●●(教授)が退職のため、 担当者を変更(24) 〔担当 片倉寛(教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	数学(線形代数)	1前	2				1					
数学(微分積分)	1後	2				1						
数学(応用解析学)	2後	2				1						
看護学概論	1後	2								兼 1		
情報工学特論	4前		2							兼 1		
医学概論	1前	2								兼 1		
小計(31科目)	—	—	54	5	0	4	1	2	0	0		

<医療保健学部 臨床工学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	医用物性材料工学	3後	2				1					
	医用治療機器学	3前	2				1					
	医用画像工学	3後 3前	2			1						学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(25)
	医療機器安全管理学	3前	2								兼 1	
	医療機器安全管理学実習	3後	2						2		1 0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任辞退(24) 〔演習講師8名を採用し補助しているため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。 ●●●●(助手)、●●●●(助手)が就任辞退のため担当者変更(25) 〔担当 加藤正太(助手) 平成24年7月採用 秋本和也(助手) 平成25年7月採用予定
	生体計測機器学	3前	2			1						
	医用機器実習	3前 3後	2						2		1 0 2	授業時間を確保するため開講時期を変更(24) 平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任辞退(24) 〔演習講師7名を採用し補助しているため、支障はないが、平成25年3月までに補充予定。 ●●●●(助手)、●●●●(助手)が就任辞退のため担当者変更(25) 〔担当 加藤正太(助手) 平成24年7月採用 秋本和也(助手) 平成25年7月採用予定
	血液浄化装置学	3前	2							1		
	呼吸療法装置学	3前	2							1		
	体外循環装置学	3後	2			±	1					平成24年3月●●●●(教授)が退職のため、担当者を変更(24) 〔担当 苗村潔(准教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
生体機能代行装置実習 I	3前	2						3		1 0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任辞退(24) 〔演習講師を11名採用し補助しているため、支障はないが、平成25年3月までに補充予定。 ●●●●(助手)、●●●●(助手)が就任辞退のため担当者変更(25) 〔担当 加藤正太(助手) 平成24年7月採用 秋本和也(助手) 平成25年7月採用予定	

<医療保健学部 臨床工学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	生体機能代行装置実習Ⅱ	3後	2						3	1 0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任辞退(24) 〔演習講師11名を採用し補助しているため、支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕 ●●●●(助手)、●●●●(助手)が就任辞退のため担当者変更(25) 〔担当 加藤正太(助手) 平成24年7月採用 秋本和也(助手) 平成25年7月採用予定〕
	医療安全・人間工学概論	4前	2			1					
	臨床工学セミナー	4前	2						1		
	臨床実習	3後	4						4	1 0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任辞退(24) 〔他の専任教員がサポートしているため、支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕 ●●●●(助手)、●●●●(助手)が就任辞退のため担当者変更(25) 〔担当 加藤正太(助手) 平成24年7月採用 秋本和也(助手) 平成25年7月採用予定〕
	内科系臨床医学Ⅰ	2前	2								兼 1
	外科系臨床医学Ⅰ	2後 2前	2			1					学生への講義内容の理解度を高めるため(23)
	内科系臨床医学Ⅱ	3前	2								兼 1
	外科系臨床医学Ⅱ	3後	2			1					
	専門演習Ⅰ	4後		1					3	1 0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任辞退(24) 〔科目開講時までには助手を補充する。〕 ●●●●(助手)、●●●●(助手)が就任辞退のため担当者変更(25) 〔担当 加藤正太(助手) 平成24年7月採用 秋本和也(助手) 平成25年7月採用予定〕
	専門演習Ⅱ	4後		1					2	1 0 2	平成23年11月●●●●(助手)、平成23年3月●●●●(助手)が就任辞退(24) 〔科目開講時までには助手を補充する。〕 ●●●●(助手)、●●●●(助手)が就任辞退のため担当者変更(25) 〔担当 加藤正太(助手) 平成24年7月採用 秋本和也(助手) 平成25年7月採用予定〕

<医療保健学部 臨床工学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	卒業研究 I	4前	2			5	2	3	3		平成24年3月 ●●●●(教授)が退職のため、 担当者を変更(24) 担当 片倉寛(教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	卒業研究 II	4後	2			5	2	3	3		平成24年3月 ●●●●(教授)が退職のため、 担当者を変更(24) 担当 片倉寛(教授) 平成24年1月 教員審査済 判定 可
	先端医療総合講義	4後		2		1					
	小計(24科目)	—	44	4	0	5	2	3	4	1 0 2	
合計(89科目)		—	120	47	0	5	2	3	4	1 0 2	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<医療保健学部 臨床工学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
61	28	0	89	61	28	0	89	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=		0.00
認可時の計画の授業科目数の計	89			

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 理学療法学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会	哲学	1前		2								兼 1
	芸術論	1前		2								兼 1
	科学論	1後		2								兼 1
	心理学	1後		2								兼 1
	倫理学	2後		2								兼 1
	宗教学	2前		2								兼 1
	政治学	1前		2								兼 1
	経済学	1前		2								兼 1
	法学	1後		2								兼 1
	コミュニケーション論	2前		2								兼 1
英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2									兼 1
	フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2									兼 1
	英語インテンシブI	2前		1								兼 1
	英語インテンシブII	2後		1								兼 1
心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2								兼 1
	スポーツ・コンディショニング	2後		2								兼 1
	集中実技 I	1前		1								兼 1
	集中実技 II	1後		1								兼 1
基礎教育科目	コンピュータリテラシー演習I	1前	1									兼 1
	コンピュータリテラシー演習II	1後		1								兼 1
	コンピュータ概論I	1前	2									兼 1
	コンピュータ概論II	1後		2								兼 1
	応用コンピュータ I	2前		2								兼 1
	応用コンピュータ II	2後		2								兼 1
	応用コンピュータ演習 I	2前		1								兼 1
	応用コンピュータ演習 II	2後		1								兼 1
人間形成	フレッシュヤーズゼミ	1通	2			4 3	3 4	3				平成24年3月 ●●●● (准教授) が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はない。 ●●●● (准教授) が就任辞退のため担当者変更(25) 担当 牧田光代(教授) 平成24年7月 教員審査済 判定 可
自然科学	医療科学の基礎 I	1前	2									兼 3
	医療科学の基礎 II	1後		2								兼 3
	生物の基礎	1前		2								兼 1
	化学の基礎	1前 1後		2								兼 1 学生への講義内容の理解度を高めるため、開講期を変更(24)
	物理の基礎	1後	2									兼 1
	数学の基礎	1前		2								兼 1
	統計学	2前		2								兼 1
小計 (34科目)		—	13	47	0	4 3	3 4	3	0	0		

<医療保健学部 理学療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体構造学Ⅰ	1前	2								兼 1	
	人体構造学Ⅱ	1後	2								兼 1	
	解剖学実習Ⅰ	1後	1								兼 2	
	解剖学実習Ⅱ	2前	1								兼 2	
	生理学Ⅰ	1前	2								兼 1	
	生理学Ⅱ	1後	1								兼 1	
	生理学実習	2前	1								兼 2	
	キネシオロジー	1後	2			1	1					
	キネシオロジー演習	2前	1			1	1	1				
	クリニカル・キネシオロジー演習	3前	1				1		1			
	人間発達学	1後	2								兼 1	
	病理・組織学演習	2前	1								兼 1	
	臨床薬理学	2後		2							兼 1	
	病理学	2前	1								兼 1	
	臨床微生物・免疫学	2前	2								兼 1	
	臨床心理学	2後		2							兼 1	
	一般臨床医学	2後	2			1						
	整形外科学	2前	2								兼 1	
	精神医学	2前	2								兼 1	
	神経内科学	2前	2			1						
	小児科学	2後	2								兼 1	
	栄養代謝学	3後 3前		1							兼 1	授業時間を確保するため開講時期を変更(24)
	老年医学	3後	2								兼 1	
	画像評価学	2後	1								兼 1	
	リハビリテーション工学	2後	2				1					
	リハビリテーション医学	2後	2			1						
	生命倫理	1後		2							兼 1	
	医学概論	1前		2							兼 1	
	家族社会学	2前		2							兼 1	
	医療経済学	2後		2							兼 1	
	公衆衛生学	3前	1								兼 1	
	医療情報演習	4後		1							兼 1	
小計(32科目)	—		38	14	0	2	1	1	1	0		

<医療保健学部 理学療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	理学療法入門	1前	2			1 0 ±	1	1	1			<p>●●●●が平成21年11月に死亡のため、担当が「可」となっている他の教員で実施。 担当教員が複数いるため支障はない(22)</p> <p>●●●●(教授)の死亡により担当を変更(25) 担当 牧田光代(教授) 平成24年7月 教員審査済 判定 可</p>	
	理学療法研究	3後	1			2 1 ±	0 ±	1				<p>平成24年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はない。</p> <p>●●●●(准教授)が就任辞退のため担当者変更(25) 担当 牧田光代(教授) 平成24年7月 教員審査済 判定 可</p>	
	先端医療総合講義	4後		2								兼 1	
	医療安全・人間工学概論	3後		2								兼 1	
	理学療法総合演習	4前	1			1	1	1					
	理学療法ゼミ	4前	1			3 2	1 2						<p>平成24年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はない。</p> <p>●●●●(准教授)が就任辞退のため担当者変更(25) 担当 牧田光代(教授) 平成24年7月 教員審査済 判定 可</p>
	リスク管理論	3後	2									兼 1	
	理学療法マネジメント論	4前		1								兼 1	
	卒業研究	4通	4			5 -4	3 -4	3					<p>平成24年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はない。</p> <p>●●●●(准教授)が就任辞退のため担当者変更(25) 担当 牧田光代(教授) 平成24年7月 教員審査済 判定 可</p>
	機能・能力測定	1後	2						1				
	機能・能力測定演習	1後	1			1		1	1				
	運動器系理学療法評価学	2前	2			1	1						
	神経系理学療法評価学	2後	2			1	0 ±	1					<p>平成24年3月 ●●●●(准教授)が、一身上の都合により就任辞退(24) 平成24年4月から網本和が兼任講師として担当することから支障はない。</p> <p>●●●●(准教授)が就任辞退のため担当者変更(25) 担当 鎌倉恵子(教授) 平成24年7月 教員審査済 判定 可</p>

<医療保健学部 理学療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	内部障害系理学療法評価学	2後	2			1							
	運動療法	2前	2			1							
	運動療法実習	2後	1			1		1					
	物理療法	3前	2				1						
	物理療法実習	3後	1				1						
	神経系理学療法学	3前	2			1	0					平成24年3月 ●●●●(准教授)が、一身上の都合により就任辞退(24) 〔平成24年4月から網本和が兼任講師として担当することから支障はない。 ●●●●(准教授)が就任辞退のため担当者変更(25) 〔担当 鎌倉恵子(教授) 平成24年7月 教員審査済 判定 可	
	神経系理学療法学実習	3後	1					1					
	運動器系理学療法学	3前	2				1						
	運動器系理学療法学実習	3後	1			1	1						
	内部障害系理学療法学	3前	2					1					
	内部障害系理学療法学実習	3後	1			1		2					
	義肢装具学演習	3前	1				1						
	義肢装具学実習	3後	1				1						
	老年期理学療法学	3前	2				1						
	発達障害系理学療法学演習	3前	1						1		1	0	平成23年12月 ●●●●(助教)が一身上の都合により就任辞退(24) 〔他に担当教員がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。 ●●●●(助教)が就任辞退のため担当者変更(25) 〔担当 楠本泰士(助教) 平成24年9月 教員審査済 判定 可
	マニュアルセラピー	3後	1						1				
	マニュアルセラピー実習	3後	1				1						
	スポーツ科学理学療法学演習	3前	1				1						
	日常生活活動論	2後	2					1					
	日常生活活動論実習	3後	1				1	1			0	平成23年12月 ●●●●(助教)が一身上の都合により就任辞退(24) 〔他に担当教員がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。 ●●●●(助教)が就任辞退のため担当者変更(25) 〔担当 牧田光代(教授) 平成24年7月 教員審査済 判定 可	
生活環境学	3前		1				1						
地域理学療法学	4後	2				1				0	当初、●●●●(助教)が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任教員を補充する(22) ●●●●(助教)が教員審査「不可」のため担当者変更(25) 〔担当 牧田光代(教授) 平成24年7月 教員審査済 判定 可		

<医療保健学部 理学療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	住宅環境論	4前		1		1					0 ±	<p>当初、●●●●(助教)が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任教員を補充する(22)</p> <p>●●●●(助教)が教員審査「不可」のため担当者を変更(25)</p> <p>〔担当 牧田光代(教授) 平成24年7月 教員審査済 判定 可〕</p>
	臨床実習Ⅰ(見学)	1前	1			1 ±				3 ±	0 ±	<p>●●●●が平成21年11月に死亡のため、担当が「可」となっている他の教員で実施。 〔担当教員が複数いるため 支障はない(22)〕</p> <p>●●●●(教授)の死亡により担当者を変更(24) 〔担当 三浦達浩(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可〕</p> <p>実習指導体制の充実を図り教員(助教)を追加(24) 〔担当 地神裕史(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可〕</p> <p>平成23年10月 ●●●●(助手)が一身上の都合により就任辞退(24) 〔他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月 までに補充予定。〕</p> <p>助手1名の補充を予定していたが、助教2名を追加採用し本科目を担当しているため支障はない(25)</p>
	臨床実習Ⅱ(検査測定)	2後	1			1 ±				3 ±	0 ±	<p>●●●●が平成21年11月に死亡のため、担当が「可」となっている他の教員で実施。 〔担当教員が複数いるため 支障はない(22)〕</p> <p>●●●●(教授)の死亡により担当者を変更(24) 〔担当 三浦達浩(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可〕</p> <p>実習指導体制の充実を図り教員(助教)を追加(24) 〔担当 地神裕史(助教) 平成23年9月 教員審査済 判定 可〕</p> <p>平成23年10月●●●●(助手)が一身上の都合により就任辞退(24) 〔他に担当教員が複数いるため 支障はないが、平成25年3月 までに補充予定。〕</p> <p>助手1名の補充を予定していたが、助教2名を追加採用し本科目を担当しているため支障はない(25)</p>

<医療保健学部 理学療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床実習Ⅲ（評価）	3後	4				1 2		3 ±	0 ±	平成24年3月 ●●●●（准教授）が就任辞退のため担当者を変更(24) 担当 三浦達浩（助教） 平成23年9月 教員審査済 判定 可 実習指導体制の充実を図り教員（助教）を追加(24) 担当 地神裕史（助教） 平成23年9月 教員審査済 判定 可 平成23年10月 ●●●●（助手）が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。 助手1名の補充を予定していたが、助教2名を追加採用し本科目を担当しているため支障はない(25)
	臨床実習Ⅳ（インターン）	4通	12			1	1		3 ±	0 ±	実習指導体制の充実を図り教員2名（助教）を追加(24) 担当 三浦達浩（助教） 平成23年9月 教員審査済 判定 可 担当 地神裕史（助教） 平成23年9月 教員審査済 判定 可 平成23年10月 ●●●●（助手）が一身上の都合により就任辞退(24) 他に担当者が複数いるため支障はない、平成25年3月までに補充予定。 助手1名の補充を予定していたが、助教2名を追加採用し本科目を担当しているため支障はない(25)
	小計（40科目）	-	66	7	0	5 4 5	3 4	3	6 5 4	0 ±	
合計（106科目）		-	117	68	0	5 4 5	3 4	3	6 5 4	0 ±	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成24年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<医療保健学部 理学療法学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
66	40	0	106	66	40	0	106	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=		0.00
認可時の計画の授業科目数の計	106			

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<医療保健学部 作業療法学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会	哲学	1前		2								兼 1
	芸術論	1前		2								兼 1
	科学論	1後		2								兼 1
	心理学	1後		2								兼 1
	倫理学	2後		2								兼 1
	宗教学	2前		2								兼 1
	政治学	1前		2								兼 1
	経済学	1前		2								兼 1
	法学	1後		2								兼 1
	コミュニケーション論	2前		2								兼 1
英語	フレッシュマンイングリッシュ I	1前	2									兼 1
	フレッシュマンイングリッシュ II	1後	2									兼 1
	英語インテンシブI	2前		1								兼 1
	英語インテンシブII	2後		1								兼 1
心身ウェルネス	栄養と健康	1前		2								兼 1
	スポーツ・コンディショニング	2後		2								兼 1
	集中実技 I	1前		1								兼 1
	集中実技 II	1後		1								兼 1
基礎教育科目	コンピュータリテラシー演習I	1前	1									兼 1
	コンピュータリテラシー演習II	1後		1								兼 1
	コンピュータ概論I	1前	2									兼 1
	コンピュータ概論II	1後		2								兼 1
	応用コンピュータ I	2前		2		1						兼 1
	応用コンピュータ II	2後		2		1						兼 1
	応用コンピュータ演習 I	2前		1		1						兼 1
	応用コンピュータ演習 II	2後		1		1						兼 1
人間形成	フレッシュャーズゼミ	1通	2			$\frac{5}{4}$	3	0	0	0		平成24年4月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により就任遅延(24) 学生への指導体制の充実を図り、教員(准教授)を追加(24) 担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月 教員審査済 判定 可 平成25年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25) 担当 奈良進弘(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 平成25年4月 田丸あき子(准教授)が就任(25)
	医療科学の基礎 I	1前	2					1				兼 2
	医療科学の基礎 II	1後		2				1				兼 2
	生物の基礎	1前		2								兼 1
	化学の基礎	1前 1後		2								兼 1
	物理の基礎	1後		2								兼 1
	数学の基礎	1前		2								兼 1
	統計学	2前		2								兼 1
	小計 (34科目)			11	49	0	$\frac{5}{4}$	3	1	0	0	

<医療保健学部 作業療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	人体構造学Ⅰ	1前	2								兼 1	
	人体構造学Ⅱ	1後	2								兼 1	
	解剖学実習Ⅰ	1後	1								兼 2	
	解剖学実習Ⅱ	2前	1								兼 2	
	生理学Ⅰ	1前	2								兼 1	
	生理学Ⅱ	1後	1								兼 1	
	生理学実習	2前	1								兼 2	
	病理・組織学演習	2前	1								兼 1	
	臨床薬理学	2後		2							兼 1	
	病理学	2前	1								兼 1	
	臨床微生物・免疫学	2前	2			1						
	臨床心理学	2後	2								兼 1	
	公衆衛生学	2前	1								兼 1	
	一般臨床医学	2後	2								兼 1	
	整形外科学	2前	2								兼 1	
	精神医学	2前	2								兼 1	
	神経内科学	2前	2								兼 1	
	小児科学	2後	2								兼 1	
	リハビリテーション医学	2後	2								兼 1	
	栄養代謝学	3後 3前		1					1			授業時間を確保するため開講時期を変更 (24)
	人間発達学	1後	2				1					
	老年医学	3後	2				1					
	家族社会学	2前		2							兼 1	
	運動学	1後	2								兼 2	
	運動学実習	2前	1				1	1				実習指導体制の充実を図り教員(准教授)を追加 (24) 担当 酒井弘美 平成23年7月 教員審査済 判定 可
	臨床運動学演習	3前	1				1				兼 1	
	コミュニケーション演習	1後 1前	1				1					「コミュニケーション実習」を1年次前期に変更したため、学生の負担を考慮して、1年前期から1年後期に変更 (22)
	コミュニケーション実習	1前 1後	2				1					学外での実習を中心に行うため、実習先の都合により、開講期を1年後期から1年前期に変更 (22)
	医療情報演習	4後		1							兼 1	
	医療経済学	2後		2							兼 1	
	リハビリテーション工学	3前	2								兼 1	
	生命倫理	1後		2							兼 1	
	医学概論	1前		2		1						
	画像評価学	2後		1							兼 1	
	文章表現リテラシー	1後	1								兼 1	
小計 (35科目)	—		43	13	0	4	2 ±	1	0	0		

<医療保健学部 作業療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	身体障害作業療法学Ⅰ（神経系）	2後	1			2 ±	0 ±					<p>平成25年3月 ●●●●（准教授）が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25) 〔担当 奈良進弘(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕</p>	
	身体障害作業療法学Ⅱ（筋骨格系）	2後	1			1	1 2				1	<p>●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延(24) 他に担当教員が1名いるため支障はない。</p> <p>平成25年3月 ●●●●（准教授）が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25) 〔担当 奈良進弘(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕</p> <p>平成25年4月 田丸あき子(准教授)が就任(25)</p>	
	身体障害作業療法学Ⅲ（全身性障害）	3前	1			2 ±	1 2					1	<p>●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延(24) 〔平成24年度は●●本人が兼任講師として担当するため支障はない。〕</p> <p>平成25年3月 ●●●●（准教授）が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25) 〔担当 奈良進弘(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕</p> <p>平成25年4月 田丸あき子(准教授)が就任(25)</p>
	身体障害作業療法学Ⅳ（外傷熱傷）	3後	1			1	2 3				0 ±	1 2	<p>当初、●●●●（助教）が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任を補充する(22)</p> <p>●●●●（助教）の教員審査の判定が「不可」となったため担当者を変更(24) 〔担当 酒井弘美(准教授) 平成24年1月教員審査済 判定 可〕</p> <p>●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延(24) 〔平成24年度は●●本人が兼任講師として担当するため支障はない。〕</p> <p>平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により就任辞退(24) 〔他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕</p> <p>平成25年3月 ●●●●（准教授）が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25) 〔担当 奈良進弘(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕</p> <p>平成25年4月 田丸あき子(准教授)が就任(25)</p> <p>助手1名の補充を予定していたが、助教1名を追加採用し本科目を補助しているため支障はない(25)</p>

<医療保健学部 作業療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	身体障害作業療法学V (老年期障害)	3前	1				1	0 ±					平成25年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25) 〔担当 奈良進弘(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可
	身体障害作業療法学VI (感覚器その他)	3後	1				1	1 2			1	●●●●(准教授)が一身上の都合により、就任遅延(24) 平成24年度は●●本人が兼任講師として担当するため支障はない。 平成25年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25) 〔担当 奈良進弘(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可 平成25年4月 田丸あき子(准教授)が就任(25)	
	身体障害作業療法学総論	2前	2				1				1		
	高次脳機能障害作業療法学	3後	2					1			0 ±	1	当初、●●●●(助教)が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任を補充する(22) ●●●●(助教)の教員審査の判定が「不可」となったため担当者を変更(24) 〔担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可
	義肢装具学	3前	2				1				1		
	精神障害作業療法学各論I (治療技法別)	2後	1				1				1		
	精神障害作業療法学各論II (疾患・障害別)	3後	1								1	兼 1	
	精神障害作業療法学総論	2前	2								1	兼 1	
	発達障害作業療法学演習I	3前	1					1					
	発達障害作業療法学演習II	3後	1					1					
	老年期障害作業療法学総論	3後	1					1 0 ±					●●●●(准教授)が一身上の都合により、就任遅延(24) 平成24年度は●●本人が兼任講師として担当するため支障はない。 平成25年4月 田丸あき子(准教授)が就任(25)
作業療法管理学	4後		1				1	1 2 ±				教員(准教授)を追加(24) 〔担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可 平成25年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25) 〔担当 奈良進弘(教授) 平成25年1月 教員審査済 判定 可	

<医療保健学部 作業療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教		助手	
専門科目	職業前関連活動学	4後		1			1	1					<p>●●●●(准教授)が一身上の都合により、就任遅延(24)</p> <p>〔開講期は専任として就任するため支障はない。〕</p> <p>平成25年3月</p> <p>●●●●(准教授)が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25)</p> <p>〔担当 奈良進弘(教授)〕</p> <p>〔平成25年1月 教員審査済 判定 可〕</p> <p>平成25年4月</p> <p>田丸あき子(准教授)が就任(25)</p>
	地域作業療法学Ⅰ (身体障害・老年期障害)	3後	1				1	1		0	1	<p>当初、●●●●(助教)が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設までに専任を補充する(22)</p> <p>●●●●(助教)の教員審査の判定が「不可」となったため担当者を変更(24)</p> <p>〔担当 酒井弘美(准教授)〕</p> <p>〔平成23年1月教員審査済 判定 可〕</p>	
	地域作業療法学Ⅱ (精神障害・発達障害)	3後	1					1				1	
	作業療法学概論	1後	2				2	1					<p>教員(准教授)を追加(24)</p> <p>〔担当 酒井弘美(准教授)〕</p> <p>〔平成23年7月教員審査済 判定 可〕</p>
	基礎作業療法技法実習Ⅰ	1後	2										兼 1
	基礎作業療法技法実習Ⅱ	2前	2				1						
	作業解析学演習	3前	1				1	0			1		<p>平成25年3月</p> <p>●●●●(准教授)が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25)</p> <p>〔担当 奈良進弘(教授)〕</p> <p>〔平成25年1月 教員審査済 判定 可〕</p>
	心理社会的機能作業療法評価学演習	2前	2				1				1		
	心理社会的障害日常生活活動学演習	3前	1										兼 1
	先端医療総合講義	4後		2									兼 1
	医療安全・人間工学概論	3前		2									兼 1
	臨床講座Ⅰ	2後	1					2				1	<p>●●●●(准教授)が一身上の都合により、就任遅延(24)</p> <p>〔他に担当教員が1名いるため 支障はない。〕</p> <p>平成24年2月</p> <p>●●●●(助手)が一身上の都合により、就任辞退(24)</p> <p>〔他に担当教員がいるため 支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕</p> <p>平成25年4月</p> <p>田丸あき子(准教授)が就任(25)</p> <p>助手1名の補充を予定していたが、助教1名を追加採用し本科目を補助しているため支障はない(25)</p>

<医療保健学部 作業療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床講座Ⅱ	3後	1				2 1 2				1 2	<p>●●●●(准教授)が一身上の都合により、就任遅延(24)</p> <p>他に担当教員が1名いるため支障はない。</p> <p>平成24年2月</p> <p>●●●●(助手)が一身上の都合により、就任辞退(24)</p> <p>他に担当教員がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。</p> <p>平成25年4月</p> <p>●●●●(准教授)が就任(25)</p> <p>助手1名の補充を予定していたが、助教1名を追加採用し本科目を補助しているため支障はない(25)</p>
	臨床見学	2前 2後 2前	1				2 0		2 1	1 2	<p>学外での実習を中心に行うため、実習先の都合により、開講期を2年前期から2年後期に変更(23)</p> <p>学外での実習を中心に行うため、実習先の都合により、開講期を2年後期から2年前期に変更(24)</p> <p>実習指導体制の充実を図り、担当教員を3名追加(24)</p> <p>担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可</p> <p>担当 石川進一(助教) 平成24年1月教員審査済 判定 可</p> <p>担当 西野由希子(助教) 平成24年1月教員審査済 判定 可</p> <p>平成23年8月</p> <p>●●●●(助教)が就任辞退のため、平成23年9月から担当者を変更(24)</p> <p>担当 大島隆一郎(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可</p> <p>平成24年2月</p> <p>●●●●(助手)が一身上の都合により、就任辞退(24)</p> <p>他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。</p> <p>助手1名の補充を予定していたが、助教1名を追加採用し本科目を補助しているため支障はない(25)</p>	

<医療保健学部 作業療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備 考								
			必	修	選	択	自	由	教	授	准		教	授	講	師	助	教	助	手
専門科目	臨床実習Ⅰ（評価実習）	2後	2					1	0	1				3	1					<p>実習指導体制の充実を図り、担当教員を2名追加（24）</p> <p>〔担当 石川進一（助教） 平成24年1月教員審査済 判定 可〕</p> <p>〔担当 西野由希子（助教） 平成24年1月教員審査済 判定 可〕</p> <p>平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により、就任辞退（24）</p> <p>〔他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕</p> <p>平成25年3月 ●●●●（准教授）が一身上の都合により退職のため、担当者を変更（25）</p> <p>〔担当 奈良進弘（教授） 平成25年1月 教員審査済 判定 可〕</p> <p>助手1名の補充を予定していたが、助教1名を追加採用し本科目を補助しているため支障はない（25）</p>
	臨床実習Ⅱ（評価実習）	3前	2						1					3	1					<p>実習指導体制の充実を図り、担当教員を2名追加（24）</p> <p>〔担当 石川進一（助教） 平成24年1月教員審査済 判定 可〕</p> <p>〔担当 西野由希子（助教） 平成24年1月教員審査済 判定 可〕</p> <p>平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により、就任辞退（24）</p> <p>〔他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕</p> <p>助手1名の補充を予定していたが、助教1名を追加採用し本科目を補助しているため支障はない（25）</p>
	臨床実習Ⅲ（総合実習）	3後・4前	8							2	1				1	2				

<医療保健学部 作業療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床実習Ⅳ（総合実習）	3後・4前	8				2 1		0 1		1 2	<p>平成23年8月 ●●●●（助教）が一身上の都合により就任辞退のため担当者を変更（24） 〔担当 酒井弘美（准教授） 平成23年7月教員審査済 判定 可〕</p> <p>平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により、就任辞退（24） 〔他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕</p> <p>助手1名の補充を予定していたが、助教1名を追加採用し本科目を補助しているため支障はない（25）</p>
	作業療法セミナーⅠ	4後	1				1 0 ±				1 2	<p>●●●●（准教授）が一身上の都合により、就任遅延（24） 〔開講期は専任として就任するため支障はない。〕</p> <p>平成24年2月 ●●●●（助手）が一身上の都合により、就任辞退（24） 〔他に担当教員がいるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。〕</p> <p>平成25年4月 田丸あき子（准教授）が就任（25）</p> <p>助手1名の補充を予定していたが、助教1名を追加採用し本科目を補助しているため支障はない（25）</p>
	作業療法セミナーⅡ	4後	1							1		1 2

<医療保健学部 作業療法学科>

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	作業療法セミナーⅢ	4後		1			1					
	作業療法セミナーⅣ	4後		1								兼 1
	作業療法研究法	3後	2			1	1					平成23年3月 ●●●●兼担教授が退職のため、平成24年度より担当者を変更(24) 〔担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可
	作業療法卒業研究	4通	4			6 5	3				1 2	●●●●(准教授)が一身上の都合により、就任遅延(24) 〔開講期は専任として就任するため支障はない。 卒業研究の指導体制の充実を図り、教員を1名追加(24) 〔担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 判定 可 平成24年2月 ●●●●(助手)が一身上の都合により、就任辞退(24) 〔他に担当教員が複数いるため支障はないが、平成25年3月までに補充予定。 平成25年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により退職のため、担当者を変更(25) 〔担当 奈良進弘(教授) 平成25年1月 判定 可 平成25年4月 田丸あき子(准教授)が就任(25)
	小計(40科目)	—	60	10	0	6 5	3	1	4 3	1		
合計(109科目)	—	114	72	0	6 5	3	1	4 3	1	1 2		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<医療保健学部 作業療法学科>

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
65	44	0	109	65	44	0	109	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	0	=		0.00
認可時の計画の授業科目数の計	109			

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【区分：共用】 ①蒲田 日本工学院専門学校 との共用： 収容定員5940人 基準面積 なし 共用の合計 20,693.00㎡のうち、 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②八王子 日本工学院八王子専 門学校との共用： 収容定員5640人 基準面積 なし 【区分：共用する他 の学校等の専用】 ①日本工学院専門学 校 ②日本工学院八王子 専門学校 運動場用地と校舎敷 地との所要時間は、 電車約65分、自動車 約120分である。	
	校舎敷地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 365,355.51㎡ ① 20,693.00㎡ ② 344,662.51㎡	計 6,292.19㎡ ① 6,292.19㎡ ② 0㎡	計 371,647.70㎡ ① 26,985.19㎡ ② 344,662.51㎡		
	運動場用地	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 36,158.00㎡ ① 0㎡ ② 36,158.00㎡		
	小 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,513.51㎡ ① 20,693.00㎡ ② 380,820.51㎡	計 6,292.19㎡ ① 6,292.19㎡ ② 0.00㎡	計 407,805.70㎡ ① 26,985.19㎡ ② 380,820.51㎡		
	そ の 他	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡		
	合 計	計 0㎡ ① 0㎡ ② 0㎡	計 401,513.51㎡ ① 20,693.00㎡ ② 380,820.51㎡	計 6,292.19㎡ ① 6,292.19㎡ ② 0㎡	計 407,805.70㎡ ① 26,985.19㎡ ② 380,820.51㎡		
(2) 校 舎	専 用	計 134,931.610㎡ ① 25,057.260㎡ ② 109,874.350㎡	計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡	計 102,599.660㎡ ① 53,606.720㎡ ② 48,992.940㎡	計 278,501.880㎡ ① 87,943.930㎡ ② 190,557.950㎡	【区分：専用】 ①蒲田 ②八王子 【区分：共用】 ①日本工学院専門学 校との共用： 収容定員5940人 基準面積16,400㎡ 借用面積31.29㎡ 借用期間 平成21年4月1日 ～51年3月31日 ②日本工学院八王子 専門学校との共用： 収容定員5640人 基準面積16,040㎡ 【区分：共用する他 の学校等の専用】 ①日本工学院専門学 校 ②日本工学院八王子 専門学校	
		〔計 130,409.440㎡ ① 20,535.090㎡ ② 109,874.350㎡〕	〔計 40,970.610㎡ ① 9,279.950㎡ ② 31,690.660㎡〕	〔計126,118.940㎡ ①77,126.000㎡ ②48,992.940㎡〕	〔計 297,498.990㎡ ① 106,941.040㎡ ② 190,557.950㎡〕		
(3) 教 室 等	講 義 室	計 72室 ① 17室 ② 55室	演 習 室 計 1室 ① 1室 ② 0室	実 験 実 習 室 計 229室 ① 40室 ② 189室	情 報 処 理 学 習 施 設 計 6室 ① 6室 ② 0室 (補助職員 人)	語 学 学 習 施 設 計 4室 ① 4室 ② 0室 (補助職員 人)	大学全体 ①蒲田 ②八王子
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		・デザイン学部の教員研 究室は、職位にかかわら ず共同研究室 ・医療保健学部の教員研 究室は、教授、准教授は 個室、講師、助教及び助 手は共同研究室	
	デザイン学部			10 室			
医療保健学部			46 室				

区 分		内 容						備 考	
(5)	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	「大学全体の共用分(機械・器具、標本を除く)」 ・八王子図書館 八王子図書館からの移管図書(和書) 2,911冊を医療保健学部とデザイン学部に分けて記載	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
		デザイン学部	7,691 [300] (4,343 [89]) (3,273 [-60])	52 [10] (86 [13]) (-52 [-10])	1 [1] (3 [3]) (-1 [-1])	180 (89) (-36)	8,574 (4,689) (-4,610)		0 (0)
		医療保健学部 看護学科	4,445 [380] (4,429 [484]) (3,485 [-300])	23 [9] (35 [10]) (-23 [-9])	5 [5] (6 [6]) (-5 [-5])	92 (34) (-28)	13,015 (7,156) (-7,238)		113 (128) (-106)
		医療保健学部 臨床工学科	2,565 [180] (2,150 [131]) (1,985 [-100])	23 [9] (23 [9])	5 [5] (5 [5])	92 (40) (-28)			
		医療保健学部 理学療法学科	2,055 [90] (1,754 [19]) (1,495 [-10])	17 [7] (19 [7]) (-17 [7])	5 [5] (5 [5])	67 (34) (-19)			
		医療保健学部 作業療法学科	1,813 [90] (1,504 [12]) (1,253 [-10])	17 [7] (25 [11]) (-17 [-7])	5 [5] (9 [9]) (-5 [-5])	68 (23) (-20)			
小 計	11,178 [740] (9,837 [646]) (8,218 [-420])	80 [32] (102 [37]) (-80 [-32])	20 [20] (25 [25]) (-20 [-20])	319 (131) (-95)	13,015 (7,156) (-7,238)	113 (128) (-106)			
計	18,869 [1,040] (14,180 [735]) (11,491 [480])	132 [42] (188 [50]) (-132 [-42])	21 [21] (28 [28]) (-21 [-21])	449 (220) (-131)	8,574 (4,689) (4,610) 13,015 (7,156) (-7,238)	0 (0) 113 (128) (-106)	機械・器具および標本は、 上段がデザイン学部 下段が医療保健学部 絶版等により入手が 不可能な図書等の代 替として、同等内容 でかつ安価な図書等 を多数購入したた め、「図書」「学術 雑誌」「視聴覚資 料」ともに点数増と なった(23)		
八王子図書館	127,645 [30,404]	323 [83]	51 [46]	2,587	---	---			
(6)	図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 ①蒲田 ②八王子	
		計 4,496㎡ ① 1,578㎡ ② 2,918㎡		計 854席 ① 200席 ② 654席		計 238,000冊 ① 63,000冊 ② 175,000冊			
(7)	体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		10,645㎡		テニスコート(5面)、50m公認プール					
(8)	経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費および設備購入費は、 上段がデザイン学部 下段が医療保健学部
			教員1人当り研究費等	600千円		1,100千円	図書購入費	14,961千円 15,000千円 49,910千円 50,000千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	265,357千円 277,584千円 499,914千円 518,969千円	122,883千円 132,916千円 111,084千円 119,997千円	千円	図書購入費については、 絶版等により同等 内容の安価な図書 を購入した。(24) 設備購入費につ いては、購買努力 により見積価格 より購入価格が 下がった。(24)
		学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	学生納付金は、 上段がデザイン学部 中段が、医療保健 学部看護学科下段が、 医療保健学部臨床工 学科、理学療法学 科、作業療法学科
			1,810千円	1,590千円	1,620千円	1,650千円	---	---	
2,100千円	1,680千円		1,716千円	1,750千円	---	---			
1,900千円	1,590千円	1,626千円	1,662千円	---	---				
学生納付金以外の維持方法の概要			検定料収入、手数料収入、資産運用収入、事業収入をもって支弁する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京工科大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学 員 数	編入学 定員 数	収容 定員 数	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所在地		
応用生物学部 応用生物学科	4	240	2年次 18人 3年次 9人	1,032	学士 (バイオニクス)	1.19	平成15年度	東京都 八王子市 片倉町 1404-1	平成20年4月入学者から、バイオニクス学部バイオニクス学科の名称を、応用生物学部応用生物学科に変更した。	
コンピュータサイエンス学部 コンピュータサイエンス学科	4	480	2年次 18人 3年次 12人	1,998	学士 (コンピュータサイエンス)	1.23	平成15年度			
メディア学部 メディア学科	4	400	2年次 27人 3年次 12人	1,705	学士 (メディア学)	1.18	平成11年度			

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<デザイン学部 デザイン学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
					専	教授(学部長)	イクダ セイジ 池田 政治	平成25年4月		平成25年4月 池田政治が学部長(専任教授)として就任(25)
専	教授(学部長)	ミヤタ ヤスヒロ 宮下 安弘	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ 感性演習Ⅰ(描く) 感性演習Ⅱ(描く) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究	専	教授	ミヤタ ヤスヒロ 宮下 安弘	平成25年4月		
専	教授	クストモ キョウジ 楠元 恭治	平成23年4月	デザイン論 デザイン史 デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 広告論 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究	専	教授	及部 克人 後任未定	平成23年4月	デザイン論 デザイン史 デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 広告論 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究	●●●●の後任として及部克人を専任・教授として採用。 平成22年9月教員審査済(23) 平成22年2月 ●●●●就任辞退のため(22) 「後任未定」 平成23年4月から専任教員採用予定で選考中
兼任	講師	クストモ キョウジ 楠元 恭治	平成22年4月	デザイン論	専	准教授	石橋 宏	平成22年4月	デザイン史	平成22年2月 ●●●●辞退のため平成22年度の担当者を変更(22)
				デザイン史	専	教授	若林 尚樹	平成22年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※	
				デザイン概説Ⅱ(応用) ※	専	准教授	伊藤 丙雄	平成22年4月	広告論	
専	教授	ヨコカ ショウジ 横川 昇二	平成23年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 色彩応用論 企業研究 空間デザイン論 地域とデザイン スキル演習Ⅱ(空間シミュレーション) 空間と演出専門演習Ⅰ 空間と演出専門演習Ⅱ 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
兼任	講師	ヨコカ ショウジ 横川 昇二	平成22年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※						
専	教授	ヤマカ ションペイ 山岡 俊平	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ 空間構成論 感性演習Ⅰ(関係づける) 感性演習Ⅱ(関係づける) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	教授	タケト マサトシ 竹本 正壽	平成22年4月	デザイン概説Ⅱ(応用) ※ 映像論 CM表現論 スキル演習Ⅰ(イメージデザイン) 映像と構成専門演習Ⅰ 映像と構成専門演習Ⅱ 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	教授	クカハ シュウイチ 黒川 修一	平成22年4月	芸術論 美術史 企画と展示						
専	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成22年4月	コンピュータリテラシーⅠ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						

<デザイン学部 デザイン学科>

設置時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		授業担当科目名
専	教授	カバヤシ ナキ 若林 尚樹	平成22年4月	インタラクショナルデザイン スキル演習Ⅱ(インタラクティブWebデザイン) 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	教授	タカ スミ 田中 寿美 (旧姓 勝浦) (カウラ)	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ 英語インテンシブⅢ 英語インテンシブⅣ						
専	准教授	イハシ ヒロシ 石橋 宏 (作家名:暮沢剛巳) (カレサ タケ)	平成22年4月	デザインと社会論 編集論 現代アート論						
専	准教授	イトリ 7キオ 伊藤 丙雄	平成22年4月	伝達論 ビクトグラムデザイン スキル演習Ⅰ(タイポグラフィ) 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	准教授	イトウ ヒデカ 伊藤 英高	平成23年4月	構成論 メディアアート 映像と構成専門演習Ⅰ 映像と構成専門演習Ⅱ 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	准教授	サカエ コウイチ 酒百 宏一	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ プレゼンテーション技法 感性演習Ⅰ(伝える) 感性演習Ⅱ(伝える) 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						
専	准教授	ホコウ シンジ 本郷 信二	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ 素材と加工 感性演習Ⅰ(つくる) 感性演習Ⅱ(つくる) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	准教授	マツムラ セイイチロウ 松村 誠一郎	平成22年4月	デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ コンピュータリテラシーⅡ サウンドデザイン論 スキル演習Ⅱ(サウンドデザイン) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究						
専	准教授	ミヤモト ミエ 宮元 三恵	平成22年4月	図法および製図Ⅱ(応用) 空間と演出専門演習Ⅰ 空間と演出専門演習Ⅱ 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究						
専	講師	カトウ カズハ 加藤 一葉	平成23年4月	情報デザイン論 スキル演習Ⅰ(DTP) スキル演習Ⅱ(エディトリアルデザイン) 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究						

<デザイン学部 デザイン学科>

設置時の計画				変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	講師	スエヲ シノ 末房 志野	平成23年4月					イラストレーション論 スキル演習Ⅰ(イラストレーション) 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究	
専	講師	サカイ タカシ 酒井 正	平成23年4月					図法および製図Ⅰ(基礎) 動体構成論 感性演習Ⅰ(つくる) 感性演習Ⅱ(つくる) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究	
兼任	講師	サカイ タカシ 酒井 正	平成22年4月					感性演習Ⅰ(つくる)	
専	講師	カシマ ケン 中島 健太	平成22年4月					デザイン概説Ⅰ(基礎) ※ アニメーション論 感性演習Ⅰ(描く) 感性演習Ⅱ(描く) スキル演習Ⅱ(アニメーション) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究	
専	講師	タムラ コロウ 田村 吾郎	平成22年4月					演出論 スキル演習Ⅱ(プロダクトシミュレーション) 空間と演出専門演習Ⅰ 空間と演出専門演習Ⅱ 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究	
専	講師	オオシ ケイタ 大西 景太	平成22年4月					色彩概論 スキル演習Ⅱ(映像編集) 映像と構成専門演習Ⅰ 映像と構成専門演習Ⅱ 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究	
専	助教	ケン セイウ 玄 世峰	平成22年4月					スキル演習Ⅰ(画像加工) 視覚と伝達専門演習Ⅰ 視覚と伝達専門演習Ⅱ 視覚と伝達専門研究 視覚と伝達卒業研究	
専	助教	イタミ トモキ 板宮 朋基	平成22年4月					スキル演習Ⅱ(プロダクトシミュレーション) スキル演習Ⅱ(空間シミュレーション) 空間と演出専門研究 空間と演出卒業研究	
専	助教	フカザリ ケンサク 深澤 健作	平成22年4月					感性演習Ⅰ(描く) 感性演習Ⅱ(描く) 映像と構成専門研究 映像と構成卒業研究	
兼任	教授	ヤマウラ トモオ 山浦 富雄	平成22年4月					統計学 物理の基礎 数学の基礎	
兼任	教授	コトウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成22年4月					経済学	
兼任	教授	チヨウカ ヒロアキ 千代倉 弘明	平成24年9月					CAD設計論	
兼任	教授	オク マサヒロ 奥 正廣	平成22年4月					心理学 コミュニケーション論 認知心理学	

<デザイン学部 デザイン学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	教授	コトノリ クニオ 近藤 邦雄	平成23年4月	数理造形						
兼任	教授	オノキ ヒロキ 尾崎 弘之	平成24年9月	経営・経済論						
兼任	教授	タケノ マサヒロ 竹田 昌弘	平成24年4月	マネジメント						
兼任	教授	メグロ ラモン 目黒 良門	平成24年4月	マーケティング論						
兼任	教授	サカマ ユウジ 佐久間 裕司	平成22年4月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タイジ 松井 泰二	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	兼任	講師	アンベ ヒサタカ 安部 久貴	平成24年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	平成24年3月 ●●●●(兼任・准教授)が退職のため、平成24年度より担当者の変更(24)
兼任	准教授	ミチ ヒロカ 宮地 寛登	平成22年4月	生物の基礎						
兼任	講師	ムラカミ ヤスシロウ 村上 康二郎	平成22年4月	法学						
兼任	講師	シズミ ミミ 志水 美文 (旧姓 下村) (シモムラ)	平成22年9月	環境と科学 化学の基礎						
兼任	講師	オホボリ セイイチ 尾登 誠一	平成23年9月	プロダクトデザイン論						
兼任	講師	トクモト コトコ 徳元 琴代	平成22年9月	科学論	兼任	講師	ミズウチ ヒカリ 水沢 光	平成25年4月	科学論	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)
兼任	講師	ウサギ ノブアキ 鶴澤 信明	平成24年4月	スキル演習Ⅱ(映像撮影技法)						
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ナカムラ スケル 中村 卓	平成23年9月	写真論						
兼任	講師	マツバ シゲオ 的場 成夫	平成24年4月	知的財産論						
兼任	講師	キヨタ カズキ 清田 一樹	平成23年4月	スキル演習Ⅰ(写真撮影技法)						
兼任	講師	ニシマキ ショウジ 西巻 丈児	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	キム シンテ 金 尚泰	平成23年9月	コンピュータグラフィックス論						
兼任	講師	イシハラ ジロウ 石原 次郎	平成23年4月	スキル演習Ⅰ(グラフィックプログラミング)	兼任	講師	ハヤシ マサカズ 早瀬 将一	平成23年4月	スキル演習Ⅰ(グラフィックプログラミング)	平成23年3月●●●●(兼任・講師)辞任のため平成23年度より担当者の変更(23)
兼任	講師	エガワ ジュンイチ 江川 純一	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	ヤノ リン 矢野 りん	平成23年4月	スキル演習Ⅰ(Webページデザイン)	兼任	講師	エグチ キョウコ 江口 響子	平成25年4月	スキル演習Ⅰ(Webページデザイン)	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)

<デザイン学部 デザイン学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	ミッシェル ボッチネク Michelle Bochenek	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュ I フレッシュマンイングリッシュ II						
兼任	講師	マイケル モンデジャー Michael Mondejar	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュ I フレッシュマンイングリッシュ II						
兼任	講師	マシュー リビンクストン Matthew Livingston	平成23年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II						
兼任	講師	アイシェア アリ Iyshea Ali	平成23年4月	英語インテンシブ I 英語インテンシブ II						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

<デザイン学部 デザイン学科>

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
9	7	6	3	25	10	7	6	3	26	65	3
(7)	(6)	(3)	(3)	(19)	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	●●●●	平成22年2月、健康上の理由により、平成22年度の兼任教員及び平成23年度からの専任教員の就任を辞退。

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、他の専任教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(22)</p> <p>●●●●の後任として、平成23年4月から、及部克人が専任教員(教授)として就任し、それぞれの科目を担当していることから、認可時の計画通り全科目を開講している。(23)</p>

- (注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 看護学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学科長)	サキ ジュンコ 佐々木 順子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 保健医療福祉論 公衆衛生学 疫学 地域看護学概論 健康学習論 地域看護学Ⅰ(地域看護方法論)※ 地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)※ 地域看護学実習 地域ケアシステム論 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究	専	教授	サキ ジュンコ 佐々木 順子	平成25年4月 平成24年4月	公衆衛生看護学概論 旧カリキュラム：地域看護学概論 公衆衛生看護学Ⅰ(公衆衛生看護方法論)※ 旧カリキュラム：地域看護学Ⅰ(地域看護方法論) 公衆衛生看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)※ 旧カリキュラム：地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)	保健師助産師看護師学校要請所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(24)平成23年9月教員審査済
専	教授	オクミヤ アキコ 奥宮 暁子	平成24年4月	フレッシュヤーズゼミ 成人看護学Ⅰ(周手術期ケア・クリティカルケア)※ 成人看護学Ⅱ(生活調整・生活再構築)※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 リハビリテーションケア 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	サイトウ シノブ 齊藤 茂子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 看護学概論 基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 英語講読 統合看護実習 看護管理学 看護研究 卒業研究						
専	教授	シバヤキコ 澁谷 恵子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 看護倫理 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究 看護教育学						

<医療保健学部 看護学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授	ナカオ リョウコ 中尾 僚子	平成23年4月	フレッシュヤーズゼミ ヘルスアセスメントⅡ (Advance) 臨床看護学概論Ⅱ(成人・高齢者)※ 高齢者看護学Ⅰ(高齢者の暮らしへの看護) 高齢者看護学Ⅱ(高齢者のアセスメントと看護の実際) 高齢者看護学実習 認知症ケア 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	キナノ マチコ 木内 妙子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※ ヘルスアセスメントⅡ (Advance) 臨床看護学概論Ⅰ(母性・小児)※ 小児看護学Ⅰ(子どもと家族の生活支援) 小児看護学Ⅱ (病気の子どものアセスメントと看護の実際)※ 小児看護学実習 ファミリーサポート論 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究	専	教授 (学 科 長)	キナノ マチコ 木内 妙子	平成25年4月		
専	教授	コバヤシ ヨシコ 小林 美子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 精神看護学概論 精神看護学 精神看護学実習 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	イシカワ フミヨ 石川 ふみよ	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ ヘルスアセスメントⅠ (Basic) ヘルスアセスメントⅡ (Advance) 臨床看護学概論Ⅱ(成人・高齢者)※ 成人看護学Ⅰ(周手術期ケア・クリティカルケア)※ 成人看護学Ⅱ(生活調整・生活再構築)※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専	教授	ノグチ ミエコ 野澤 美江子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ ヘルスアセスメントⅡ (Advance) 臨床看護学概論Ⅰ(母性・小児)※ 母性看護学Ⅰ(ライフステージと看護) 母性看護学Ⅱ(マタニティサイクルと看護) 母性看護学実習 リプロダクティブ・ヘルスケア 看護研究 統合看護実習 卒業研究						
専	准教授	イノハラ チョ 五十嵐 千代	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 地域看護学実習 産業看護 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究				平成24年4月	産業看護演習	保健師助産師看護師学校要請所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から科目を追加(24) 平成23年9月教員審査済
専	准教授	イノハラ チョ 五十嵐 千代	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 地域看護学実習 産業看護 看護研究 英語講読 統合看護実習 卒業研究				平成25年4月	公衆衛生看護学Ⅰ (公衆衛生看護学方法論)※ 旧カリキュラム: 地域看護学Ⅰ (地域看護学方法論) 公衆衛生看護学Ⅱ (対象別保健活動の展開)※ 旧カリキュラム: 地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)	平成23年9月 ●●●●(助教) 辞任のため平成25年4月より担当科目を追加(25) 平成24年9月教員審査済 保健師助産師看護師学校要請所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から科目を追加(25)

<医療保健学部 看護学科>

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	備考
専任	准教授	アラガエ ミキ 荒添 美紀	平成23年4月	フレッシュャーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 看護理論・看護過程 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 英語講読 統合看護実習 卒業研究				平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 看護理論・看護過程 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 英語講読 統合看護実習 卒業研究	平成23年4月から就任する予定であったが、平成22年4月から本学部専任准教授に就任したため。 平成21年7月教員審査済。(22)
兼任	講師	アラガエ ミキ 荒添 美紀	平成22年4月	基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成)						
専任	准教授	アマノ マサミ 天野 雅美	平成24年4月	フレッシュャーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 英語講読 統合看護実習 卒業研究				平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 英語講読 統合看護実習 卒業研究	平成24年4月から就任する予定であったが、平成22年4月から本学部専任准教授に就任したため。 平成21年7月教員審査済。(22)
兼任	講師	アマノ マサミ 天野 雅美	平成22年4月	基礎看護技術Ⅰ(看護共通技術) 基礎看護技術Ⅱ(日常生活の援助技術Ⅰ) 基礎看護技術Ⅲ(日常生活の援助技術Ⅱ) 基礎看護技術Ⅳ(診療の援助技術) 基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程)						
専任	准教授	セノ ヒロコ 妹尾 弘子	平成24年4月	フレッシュャーズゼミ 精神看護学 精神看護学実習 卒業研究 統合看護実習 英語講読				平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 精神看護学 精神看護学実習 卒業研究 統合看護実習 英語講読	平成24年4月から就任する予定であったが、平成22年4月から本学部専任准教授に就任したため。 平成21年7月教員審査済。(22)
専任	講師	コハヤシ サユリ 小林 小百合	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 高齢者看護学Ⅰ(高齢者の暮らしへの看護) 高齢者看護学Ⅱ(高齢者のアセスメントと看護の実際) 高齢者看護学実習 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専任	講師	オレイ 王 麗華	平成22年4月	フレッシュャーズゼミ 在宅看護学概論 在宅看護学 在宅看護学実習 国際看護学 英語講読 統合看護実習 卒業研究						
専任	助教	ミヨシ トモミ 三好 智美	平成23年4月	地域看護学Ⅰ(地域看護学方法論)※ 地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)※ 地域看護学実習 統合看護実習				平成24年4月	公衆衛生看護学Ⅰ(公衆衛生看護学方法論)※ 旧カリキュラム:地域看護学Ⅰ(地域看護学方法論) 公衆衛生看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)※ 旧カリキュラム:地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)	保健師助産師看護師学校要請所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(24)
専任	助教	ナカシマ トシ 中嶋 諭	平成22年4月	小児看護学実習 統合看護実習	専任	助教	オカタ ヒロコ 太田 浩子 —後任未定—	平成24年4月	小児看護学実習 統合看護実習	平成23年3月 ●●●●助教が一人上の都合により退職のため(23) 「後任未定」 平成24年4月から専任教員採用予定で選考中 ●●●●助教の後任として、太田浩子を助教として採用(24) 平成23年9月教員審査済(24)

<医療保健学部 看護学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	助教	モリサネフ 森實 詩乃	平成22年4月	在宅看護学実習 統合看護実習						
専	助教	ヤマモト カヨ 山本 佳代子	平成22年4月	成人看護学Ⅰ(周手術期ケア・クリティカルケア)※ 成人看護学Ⅱ(生活調整・生活再構築)※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 統合看護実習						
専	助教	エントウ ジュンコ 遠藤 順子	平成22年4月	基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 統合看護実習						
専	助教	ミナリ ミコ 峯川 美弥子	平成22年4月	成人看護学Ⅰ(周手術期ケア・クリティカルケア)※ 成人看護学Ⅱ(生活調整・生活再構築)※ 成人看護技術演習 成人看護学実習 統合看護実習	専	助教	セガ マサヒ 瀬尾 昌枝	平成25年4月	成人看護学Ⅱ(生活調整・生活再構築) 成人看護技術演習 成人看護学実習 統合看護実習	平成24年3月 ●●●●助教が一身上の都合により退職(24)「後任未定」 ●●●●が担当していたすべての科目については、他に担当者が複数いるため支援はないが、平成25年3月までに補充予定。 ●●●●の後任として瀬尾昌枝を専任・助教として採用。 平成25年1月教員審査済(25) 「成人看護学Ⅰ(周手術期ケア・クリティカルケア)※」は、他に担当教員が3名いるため支援はない(25)
専	助教	サカモト タキ 坂本 多喜子	平成22年4月	基礎看護学実習Ⅰ(人間形成) 基礎看護学実習Ⅱ(看護過程) 統合看護実習						
専	助教	タケザリ チヒロ 武澤 千尋	平成22年4月	地域看護学Ⅰ(地域看護方法論)※ 地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)※ 地域看護学実習 統合看護実習	専	准教授	イナノ フミ 五十嵐 千代	平成25年4月	公衆衛生看護学Ⅰ(公衆衛生看護方法論)※ 旧カリキュラム:地域看護学Ⅰ(地域看護方法論) 公衆衛生看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)※ 旧カリキュラム:地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)	平成23年9月 ●●●●助教が一身上の都合により退職(24)「後任未定」 ●●●●が担当していたすべての科目については、他に担当者が複数いるため支援はないが、平成25年3月までに補充予定。 ●●●●(助教)辞任のため担当者の変更 平成24年9月教員審査済(25) 保健師助産師看護師学校要請所指定規則の改正に伴い、平成23年4月入学者から授業科目名称を変更(25)
専	助教	タケザリ チヒロ 武澤 千尋	平成22年4月	地域看護学Ⅰ(地域看護方法論)※ 地域看護学Ⅱ(対象別保健活動の展開)※ 地域看護学実習 統合看護実習	専	助教	ウチノ とも 堀内 朋子	平成25年4月	地域看護学実習 統合看護実習	●●●●の後任として堀内朋子を専任・助教として採用。 平成25年1月教員審査済(25)
兼任	教授	ヤマウラ トモオ 山浦 富雄	平成22年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学						
兼任	教授	カトヨ 洋 加藤 洋	平成22年4月	人体構造学 病理病態学Ⅰ(総論) 病理病態学Ⅱ(各論)						
兼任	教授	シハラ カズヒコ 篠原 一彦	平成23年4月	疾病治療論Ⅰ(外科系医学) 医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義						
兼任	准教授	ミチ ヒロカ 宮地 寛登	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 生物の基礎						
兼任	講師	ナミ ジュンコ 南 順子	平成22年4月	人体構造学						
兼任	講師	シズミ 志水 美文	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎						
兼任	教授	カマクラ ケイ 鎌倉 恵子	平成23年9月	疾病治療論Ⅱ(内科系医学)						
兼任	教授	ヤナギサキ ノブオ 柳澤 信夫	平成22年4月	医学概論 リハビリテーション概論						
兼任	講師	カシハミ 美里 加柴 美里	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 栄養代謝学						
兼任	教授	クドウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成22年4月	経済学						

<医療保健学部 看護学科>

認設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	教授	オク マサヒロ 奥 正廣	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	クワリ シュウイチ 黒川 修一	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タハシ キヨシ 高橋 潔	平成22年4月	コンピュータリテラシー演習Ⅰ コンピュータリテラシー演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						
兼任	教授	サカ ユウジ 佐久間 裕司	平成22年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オノキ ヒロキ 尾崎 弘之	平成23年9月	医療経済学						
兼任	教授	タナカ スミ 田中 寿美	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	准教授	オチアイ コウロウ 落合 浩太郎	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タイジ 松井 泰二	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	兼任	講師	アンベ ヒサタカ 安部 久貴	平成24年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	平成24年3月 ●●●●(兼任・准教授)が退職のため、平成24年4月より、担当者の変更(24)
兼任	講師	ムラカミ ヤスシロウ 村上 康二郎	平成22年9月	法学						
兼任	助教	シンボ トシヒロ 新保 年弘	平成23年9月	臨床工学演習						
兼任	教授	ハシノ ケン 橋野 賢	平成23年4月	応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成23年4月	臨床微生物・免疫学						
兼任	講師	フクダ ジュン 福田 潤	平成22年9月	人体機能学						
兼任	講師	キムラ タカ 木村 賛	平成23年4月	人間学						
兼任	講師	コイケ カズコ 小池 和子	平成24年4月	健康環境論						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵	平成23年9月	臨床薬理学						
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二	平成22年9月	生命倫理	兼任	講師	オカノ ヒロシ 岡野 浩	平成25年4月	生命倫理	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一人上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)
兼任	講師	タカヤキ カズエ 高柳 和江	平成22年4月	癒しのケア学						
兼任	講師	ヤマザキ タツエ 山崎 達枝	平成25年9月	災害看護学						
兼任	講師	トクモト コト 徳元 翠代	平成22年9月	科学論	兼任	講師	ミズウチ ヒカリ 水沢 光	平成25年4月	科学論	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一人上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)
兼任	講師	カワグチ カキス 川口 孝泰	平成23年4月	看護工学						
兼任	講師	タケチ シン 竹内 真一	平成23年9月	画像評価学						

<医療保健学部 看護学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	ヤマカワ ユリコ 山川 百合子	平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※	兼任	講師	イズミヤ カンジ 泉谷 開示 イトナガハ マサナリ 糸川 昌成	平成25年4月 平成24年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※	平成24年3月 ●●●●(兼任・講師)が 辞任のため、平成25年度より担 当者の変更(25) 平成24年3月 ●●●●兼任・講師が辞任のた め、平成24年度より担当者の変 更(24)
兼任	講師	イシカキ キョウコ 石垣 恭子	平成24年4月	医療・看護情報学 看護情報システム論						
兼任	講師	キナチ アキラ 菊地 陽	平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※	兼任	講師	セキネ タカシ 関根 孝司 カサガチ ヒロユキ 川口 裕之	平成24年4月 平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※	平成24年3月 ●●●●兼任・講師が辞任のた め、平成24年度より担当者の変 更(24) 平成23年3月 ●●●●兼任・講師が辞任のた め、平成23年度より担当者の変 更(23)
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	マサヲ エロ 大澤 栄子	平成23年9月	感染制御ケア						
兼任	講師	ツゲモト タケオ 袖本 武男	平成23年4月	疾病治療論Ⅲ(産科・小児・精神医学)※						
兼任	講師	ニシマキ ショウジ 西巻 丈児	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	エントウ クミ 遠藤 久美	平成25年9月	バリアティブケア						
兼任	講師	ウラモト ナオ 塚本 尚子	平成23年4月	発達心理学 臨床心理学	兼任	講師	キシ タツマ 岸 竜馬	平成24年4月	臨床心理学	平成24年3月 ●●●●(兼任・ 講師)が「臨床心理学」の担当 を辞退したため、平成24年度よ り担当者の変更(24)
兼任	講師	トマベチ シン 吉米地 伸	平成23年4月	家族社会学						
兼任	講師	タカハシ ヒロコ 高橋 寛子	平成24年4月	臨床栄養学	兼任	講師	ワタナベ シズカ 渡邊 静	平成25年4月	臨床栄養学	平成25年3月 ●●●●(兼任・ 講師)が辞退したため、平成25 年度より担当者の変更(25)
兼任	講師	エガワ ジュンイチ 江川 純一	平成24年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer	平成22年4月	フレッシュマンインテ リッシュⅠ フレッシュマンインテ リッシュⅡ						
兼任	講師	マリナ バイクイスト Marina Byquist	平成22年4月	フレッシュマンインテ リッシュⅠ フレッシュマンインテ リッシュⅡ						
兼任	講師	ヤマモト ミチヨ 山本 美智代	平成24年4月	小児看護学Ⅱ (病気の子供のアセス メントと看護の実際) ※						
兼任	講師	コハヤシ ナミ 小林 奈美	平成23年4月	家族看護学	兼任	講師	カナゴ アケミ 金子 あけみ	平成25年4月	家族看護学	平成25年3月 ●●●●(兼任・ 講師)が辞退したため、平成25 年度より担当者の変更(25)
専任 補充	専任 補充				専	助教	トクドメ シズロ 徳留 静代	平成25年4月	母性看護学実習 統合看護学実習	平成25年4月から教育課程の充 実を図るため専任・助教を採用 (25)
専任 補充	専任 補充				専	助教	シバタ マチ 柴田 真希	平成25年4月	母性看護学実習 統合看護学実習	平成25年4月から教育課程の充 実を図るため専任・助教を採用 (25)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由、変更年度（ ）書き等のみを記入してください。

<医療保健学部 看護学科>

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
9	4	2	8	23	9	4	2	10	25	65	2
(7)	(1)	(2)	(7)	(17)	[0]	[0]	[0]	[2]	[2]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	助教	●●●●	平成23年3月、一身上の都合により退職
2	助教	●●●●	平成23年9月、一身上の都合により退職
3	助教	●●●●	平成24年3月、一身上の都合により退職

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの実習科目については、平成24年度から開講することになっているため、平成24年4月から専任教員を採用することで、特に支障はないと考える。(23)</p> <p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、担当が「可」となっている他の専任教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(24)</p> <p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、担当が「可」となっている他の専任教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(24)</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 臨床工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学科長)	ヤマウ トモ山浦 富雄	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 物理の基礎 数学の基礎 統計学 数学(線形代数) 数学(微分積分) 数学(応用解析学) 電磁気学 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	カウ 洋加藤 洋	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 人体解剖学Ⅰ 人体解剖学Ⅱ 病理学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	タケノ 朴武田 朴	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 電子工学Ⅰ 電子工学Ⅱ 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 医用画像工学 生体計測機器学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	教授	ヒネ 逸銭 逸	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 機械工学Ⅱ 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 体外循環装置学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	教授	カタラ ヒロシ片倉 寛	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 機械工学Ⅱ 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	平成24年3月 ●●●●教授が一身上の都合により退職のため、平成24年度より担当者を変更(24) 平成24年1月教員審査済(24)
					専	准教授	ナムラ キヨシ苗村 潔	平成24年4月	体外循環装置学	平成24年3月 ●●●●教授が一身上の都合により退職のため、平成24年度より担当者を変更(24) 平成24年1月教員審査済(24)
専	教授	シハラ カズヒコ篠原 一彦	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義 外科系臨床医学Ⅰ 外科系臨床医学Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	准教授	ナムラ キヨシ苗村 潔	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 電気工学 機械工学Ⅰ システム制御工学 工学実験Ⅰ 工学実験Ⅱ 工学演習Ⅰ 工学演習Ⅱ 医用治療機器学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ	専	准教授	ナムラ キヨシ苗村 潔	平成24年4月	体外循環装置学	担当科目の追加(24) 平成24年1月教員審査済(24)
専	准教授	ミチ ヒロカ宮地 寛登	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 生物の基礎 医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 医用物性材料工学 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	ミズシマ イワリ水島 岩徳	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 医用機器実習 生体機能代行装置実習Ⅰ 生体機能代行装置実習Ⅱ 医療機器安全管理学実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	講師	ヒタナエ日向 奈恵	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ 基礎医学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						

<医療保健学部 臨床工学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	講師	ミメ ジュンコ 南 順子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 基礎医学実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	講師	シズ ミミ 志水 美文	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	コノラ チカ 木浦 千夏子	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 医用機器実習 呼吸療法装置学 生体機能代行装置実習Ⅱ 医療機器安全管理学実習 臨床実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ						
専	助教	シホ トシロ 新保 年弘	平成23年4月	生体機能代行装置実習Ⅰ 生体機能代行装置実習Ⅱ 臨床実習 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ						
専	助教	ウカ ヒロシ 塚尾 浩	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 血液浄化装置学 生体機能代行装置実習Ⅰ 臨床実習 専門演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 臨床工学セミナー						
兼任	教授	ササキ ジュンコ 佐々木 順子	平成23年4月	公衆衛生学						
兼任	教授	サイウ シゲコ 斉藤 茂子	平成22年9月	看護学概論						
兼任	教授	カクラ ケイコ 鎌倉 恵子	平成23年4月	内科系臨床医学Ⅰ 内科系臨床医学Ⅱ						
兼任	教授	ヤギサリ ノブオ 柳澤 信夫	平成22年4月	医学概論						
兼任	教授	ハノ サトシ 橋野 賢	平成23年4月	応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成23年4月	臨床微生物・免疫学						
兼任	講師	カシバ ミサト 加柴 美里	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 臨床生化学						
兼任	教授	クドウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オウ マサヒロ 奥 正廣	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	クロカ シュウイチ 黒川 修一	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成22年4月	コンピュータリテラシー演習Ⅰ コンピュータリテラシー演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ 情報工学特論						
兼任	教授	サクマ ユウジ 佐久間 裕司	平成22年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オサキ ヒロユキ 尾崎 弘之	平成23年9月	医療経済学						

<医療保健学部 臨床工学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	教授	カカ スミ 田中 寿美	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	准教授	チライ コウタロウ 落合 浩太郎	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タイジ 松井 泰二	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	兼任	講師	アンベ ヒサタカ 安部 久貴	平成24年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	平成24年3月 ●●●●(兼任・准教授)が退職のため、平成24年度より担当者の変更(24)
兼任	講師	ムラカミ ヤスロウ 村上 康二郎	平成22年9月	法学						
兼任	講師	フカダ ジュン 福田 潤	平成22年9月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵	平成23年9月	臨床薬理学						
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二	平成22年9月	生命倫理	兼任	講師	オカノ ヒロシ 岡野 浩	平成25年4月	生命倫理	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者の変更(25)
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代	平成22年9月	科学論	兼任	講師	ミヅウ ヒカリ 水沢 光	平成25年4月	科学論	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者の変更(25)
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	ツカモト ナオ 塚本 尚子	平成23年9月	臨床心理学	兼任	講師	キシ タツマ 岸 竜馬	平成24年4月	臨床心理学	平成24年3月 ●●●●(兼任・講師)が「臨床心理学」の担当を辞退したため、平成24年度より担当者の変更(24)
兼任	講師	エカワリ ジュンイチ 江川 純一	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	マリナ ハイキスト Marina Byquist	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	オノ リアキ 小野 哲章	平成24年4月	医療機器安全管理学						
兼任	講師	ノダ セイジ 野田 雅司	平成25年9月	医療情報演習						

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

<医療保健学部 臨床工学科>

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
5	2	3	4	14	5	2	3	4	14	65	3
(5)	(2)	(3)	(3)	(13)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成 25 年 5 月 1 日現在 (就任予定の者を含む) の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1 名減の場合：△ 1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成 25 年 5 月 1 日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	辞任 (就任辞退を含む) 等の理由
1	教授	●●●●	平成24年3月、一身上の都合により退職。(24)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

●●●●が担当することになっていた科目については、後任の片倉寛教授と苗村潔准教授がそれぞれの科目を担当し、認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(24)

- (注) ・ 上記 (3) の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 理学療法学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
					専	教授	マキタ ミヨ 牧田 光代	平成25年4月	理学療法入門	教員審査を受け専任・教授を補充(25) 平成24年7月教員審査済
専	教授(学科長)	イノウエ ナオエ 伊藤 直榮	平成22年4月	理学療法入門 臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定)	専	助教	ミウラ タツヒロ 三浦 達浩	平成24年4月	臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定)	平成21年11月 ●●●●が死亡(22) 〔後任未定〕 平成23年4月から専任教員採用予定で選考中。 〔後任未定〕 平成24年4月から専任教員採用予定で選考中(23) 平成21年11月 ●●●●教授が退職のため平成24年度より担当者を変更(24) 平成23年9月教員審査済(24) 「理学療法入門」については他に担当者が複数いるため支障はない(24)
専	教授	カクラ ケイ 鎌倉 恵子	平成23年4月	フレッシュヤーズゼミ 一般臨床医学 神経内科学 リハビリテーション医学 卒業研究	専	教授	カクラ ケイ 鎌倉 恵子	平成25年4月	神経系理学療法評価学 神経系理学療法学	平成25年3月 ●●●●兼任・講師が辞任のため平成25年度より担当科目を追加 平成24年7月教員審査済(25)
専	教授	ナカヤマ タカシ 中山 孝	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ キネシオロジー キネシオロジー演習 理学療法総合演習 理学療法ゼミ 卒業研究 マニュアルセラピー実習 臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅳ(インターン) 運動器系理学療法評価学	専	教授(学科長)	ナカヤマ タカシ 中山 孝	平成22年4月		
専	准教授	アミノト カズ 網本 和	平成24年4月	フレッシュヤーズゼミ 理学療法研究 理学療法ゼミ 卒業研究 神経系理学療法評価学 神経系理学療法学 臨床実習Ⅲ(評価)	専 兼任	教授 講師	カクラ ケイ 鎌倉 恵子 アミノト カズ 網本 和	平成25年4月 平成24年4月	神経系理学療法評価学 神経系理学療法学	平成25年3月 ●●●●兼任・講師が辞任のため平成25年度より担当科目を変更 平成24年7月教員審査済(25) 平成24年3月 ●●●●准教授が就任辞退のため、担当者の変更(24) 〔神経系理学療法評価学〕 〔神経系理学療法学〕については、網本和が兼任講師として担当。 〔臨床実習Ⅲ〕については平成23年9月教員審査済(24) 〔フレッシュヤーズゼミ〕 〔理学療法研究〕 〔理学療法ゼミ〕 〔卒業研究〕については、他に担当教員が複数いるため支障はない(24)
兼任	講師	アミノト カズ 網本 和	平成23年9月	神経系理学療法評価学						
専	教授	タカハシ テツヤ 高橋 哲也	平成23年4月	理学療法研究 卒業研究 機能・能力測定演習 内部障害系理学療法評価学 内部障害系理学療法学実習						
専	教授	コマツ タケ 小松 泰喜	平成22年4月	フレッシュヤーズゼミ 理学療法ゼミ 卒業研究 運動療法実習 運動器系理学療法学実習 スポーツ科学理学療法学演習 臨床実習Ⅱ(検査測定) 運動療法						
専	准教授	ミヤザキ タカキ 宮崎 貴朗	平成24年4月	フレッシュヤーズゼミ 理学療法入門 理学療法ゼミ 卒業研究 運動器系理学療法学実習 老年期理学療法学 日常生活活動論実習 臨床実習Ⅲ(評価) 日常生活活動論 生活環境学						
兼任	講師	ミヤザキ タカキ 宮崎 貴朗	平成22年4月	理学療法入門 日常生活活動論						

<医療保健学部 理学療法学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	准教授	イグロ ケイ 石黒 圭応	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ キネシオロジー キネシオロジー演習 クリニカル・キネシオロジー演習 リハビリテーション工学 卒業研究 物理療法 義肢装具学実習 運動器系理学療法学 義肢装具学演習						
専	准教授	スガワ ヒロ 菅原 仁	平成23年4月	フレッシュアーズゼミ 理学療法総合演習 卒業研究 運動器系理学療法評価学 物理療法実習 臨床実習Ⅳ(インターン)						
専	講師	マサダ ミハ 真寿田 三葉	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 理学療法研究 卒業研究 機能・能力測定演習 運動療法実習 内部障害系理学療法学 内部障害系理学療法学実習						
兼任	講師	マサダ ミハ 真寿田 三葉	平成22年9月	機能・能力測定演習 運動療法実習						
専	講師	カサ イエ 河西 理恵	平成22年4月	フレッシュアーズゼミ キネシオロジー演習 理学療法入門 卒業研究 マニュアルセラピー						
専	講師	クリタ ヒデアキ 栗田 英明	平成24年4月	フレッシュアーズゼミ 理学療法総合演習 卒業研究 神経系理学療法評価学 神経系理学療法学実習 内部障害系理学療法学実習 発達障害系理学療法学演習						
兼任	講師	クリタ ヒデアキ 栗田 英明	平成23年9月	神経系理学療法評価学						
専	助教	ヨシタ シン 吉田 真一	平成24年4月	クリニカル・キネシオロジー演習 理学療法入門 機能・能力測定演習						
兼任	講師	ヨシタ シン 吉田 真一	平成22年4月	理学療法入門 機能・能力測定演習						
専	助教	サトウ ユカ 佐藤 裕子	平成24年4月	発達障害系理学療法学演習 日常生活活動論実習	専	助教	クモト ヤスキ 楠本 泰士 後任未定	平成25年4月	発達障害系理学療法学演習	平成23年12月 ●●●●助教が一身上の都合により 就任辞退(24) 〔後任未定〕他に担当者がいる ため支障はないが、平成25年 3月までに補充予定。 ●●●●の後任として楠本泰士を 専任・助教として採用。 平成24年9月教員審査済 (25)
					専	教授	マサキ ミヨ 牧田 光代	平成25年4月	日常生活活動論実習	教員審査を受け専任・教授を補充 (25) 平成24年7月教員審査済
専	助教	ムロトモカズ 武藤 友和	平成22年4月	臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定)						
専	助教	ヨシマツ タツキ 吉松 竜貴	平成22年4月	機能・能力測定 臨床実習Ⅲ(評価) 臨床実習Ⅳ(インターン)						
					専	助教	ヂガミ ヒロフミ 地神 裕史	平成24年4月	臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定) 臨床実習Ⅲ(評価) 臨床実習Ⅳ(インターン)	実習指導体制の充実を図り、専任教員(助教)を追加(24) 平成23年9月教員審査済 (24)
					専	助教	ミウラ タツヒロ 三浦 達浩	平成24年4月	臨床実習Ⅰ(見学) 臨床実習Ⅱ(検査測定) 臨床実習Ⅲ(評価) 臨床実習Ⅳ(インターン)	実習指導体制の充実を図り、専任教員(助教)を追加(24) 平成23年9月教員審査済 (24)
兼任	教授	ササキ ジュンロ 佐々木 順子	平成24年4月	公衆衛生学						
兼任	教授	ヤマウラ トシ 山浦 富雄	平成22年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学						
兼任	教授	カトリ ヨ 加藤 洋	平成22年4月	人体構造学Ⅰ 人体構造学Ⅱ 解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ 病理・組織学演習 病理学						

<医療保健学部 理学療法学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	教授	シハラ カズヒロ 篠原 一彦	平成24年9月	医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義 リスク管理論						
兼任	准教授	ミヤ ヒロカ 宮地 寛登	平成22年4月	医療科学の基礎 I 医療科学の基礎 II 生物の基礎						
兼任	講師	ナミ シュンコ 南 順子	平成22年9月	解剖学実習 I 解剖学実習 II						
兼任	講師	シミズ ミフミ 志水 美文	平成22年4月	医療科学の基礎 I 医療科学の基礎 II 化学の基礎 生理学実習						
兼任	教授	ヤギキ サチノブ 柳澤 信夫	平成22年4月	老年医学 医学概論						
兼任	教授	ハシノ サトシ 橋野 賢	平成23年4月	応用コンピュータ I 応用コンピュータ II 応用コンピュータ演習 I 応用コンピュータ演習 II						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成23年4月	臨床微生物・免疫学						
兼任	准教授	オシマ リュウイチロウ 大島 隆一郎	平成22年9月	人間発達学						
兼任	講師	カシバ ミサト 加柴 美里	平成22年4月	医療科学の基礎 I 医療科学の基礎 II 栄養代謝学						
兼任	教授	オトリ マサヒロ 工藤 昌宏	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オカ マサヒロ 奥 正廣	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	クロカワ シュウイチ 黒川 修一	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成22年4月	コンピュータリテラシー 演習 I コンピュータリテラシー 演習 II コンピュータ概論 I コンピュータ概論 II						
兼任	教授	サカマ ユウジ 佐久間 裕司	平成22年9月	スポーツ・コンディショ ニング 集中実技 II						
兼任	教授	オサキ ヒロユキ 尾崎 弘之	平成23年9月	医療経済学						
兼任	教授	タカミ スミ 田中 寿美	平成22年4月	フレッシュマンイン グ リッシュ I フレッシュマンイン グ リッシュ II 英語インテンシブ I 英語インテンシブ II						
兼任	准教授	オライ コウタロウ 落合 浩太郎	平成22年4月	政治学						
兼任	准教授	マツイ タカシ 松井 泰二	平成22年4月	栄養と健康 集中実技 I	兼任	講師	アンベ ヒサタカ 安部 久貴	平成24年4月	栄養と健康 集中実技 I	平成24年3月 ●●●●(兼任・准教授)が退職のため、平成24年度より担当者を変更(24)
兼任	講師	ムラカミ ヤスシロウ 村上 康二郎	平成22年9月	法学						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵	平成23年9月	臨床薬理学						
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二	平成22年9月	生命倫理	兼任	講師	オカノ ヒロシ 岡野 浩	平成25年4月	生命倫理	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)
兼任	講師	トクモト コトコ 徳元 琴代	平成22年9月	科学論	兼任	講師	ミズサキ ヒカリ 水沢 光	平成25年4月	科学論	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)

<医療保健学部 理学療法学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	タケノコ 竹内 真一	平成23年9月	画像評価学						
兼任	講師	ヤマカミ ユリコ 山川 百合子	平成23年4月	精神医学	兼任	講師	シガラ 雅弘 高橋 正雄	平成25年4月 平成24年4月	精神医学	平成25年3月 ●●●●兼任・講師が辞任のため 平成25年度より担当者の変更(25) 平成24年3月 ●●●●兼任・講師が一身上の都合により辞任。平成24年度より担当者を変更(24)
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ニシマキ ジョウジ 西巻 丈児	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	ウツミト ナオ 塚本 尚子	平成23年9月	臨床心理学	兼任	講師	ケン タツマ 岸 竜馬	平成24年4月	臨床心理学	平成24年3月 ●●●●兼任・講師が一身上の都合により辞任。平成24年度より担当者を変更(24)
兼任	講師	トマベチ シ 苔米地 伸	平成23年4月	家族社会学						
兼任	講師	エガリ ジュンイチ 江川 純一	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	マリナ バイクスト Marina Byquist	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ						
兼任	講師	ノダ セイジ 野田 雅司	平成25年9月	医療情報演習						
兼任	講師	カムラ ヨシチロ 加村 壮一郎	平成23年4月	整形外科学	兼任	講師	イカハ トモシ 石川 知志	平成25年4月	整形外科学	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)
兼任	講師	スズキ ヒサハル 鈴木 文晴	平成23年9月	小児科学	兼任	講師	ウシジマ ヒロシ 牛島 寛治	平成25年4月	小児科学	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)
兼任	講師	ハマノウ マコト 浜之上 誠	平成22年4月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習						
兼任	講師	クロウラ ユキオ 黒川 幸雄	平成25年4月	理学療法マネジメント論						
専任補充	専任補充			地域理学療法学 在宅環境論	専	教授	マキタ ミツヨ 牧田 光代	平成25年4月	フレッシュャーズゼミ 理学療法入門 理学療法研究 理学療法ゼミ 卒業研究 地域理学療法学 在宅環境論 日常生活活動論実習	「地域理学療法学」(4年次後期)、「在宅環境論」(4年次前期)は、●●●●が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設時までに教員審査を受け専任を補充する。(22) 上記(22)は平成23年度も同様(23) 平成24年7月 変更書提出予定(24) 教員審査を受け専任・教授を補充(25) 平成24年7月教員審査済

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

<医療保健学部 理学療法学科>

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
5	4	3	4	16	5	3	3	6	17	65	2
(3)	(1)	(1)	(2)	(7)	[0]	[Δ1]	[0]	[2]	[1]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授 (学科長)	●●●●	平成21年11月、本人死亡のため。(22)
2	准教授	●●●●	平成24年3月、一身上の都合により就任辞退。(24)
3	助教	●●●●	平成23年10月、一身上の都合により就任辞退。(24)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、担当が「可」となっている他の担当教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(22) ●●●●、●●●●が担当することになっていたそれぞれの科目については、担当が「可」となっている他の担当教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(24)</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<医療保健学部 作業療法学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	教授(学部長)	ヤマザキ ノブオ 柳澤 信夫	平成22年4月	プレッシャーズゼミ 老年医学 医学概論 作業療法卒業研究						
専	教授	ヤマザキ イコ 山崎 郁子	平成22年4月	プレッシャーズゼミ コミュニケーション演習 コミュニケーション実習 精神障害作業療法学各論Ⅰ(治療技法別) 基礎作業療法技法実習Ⅱ 作業療法卒業研究 心理社会的機能作業療法評価学演習 作業療法学概論	専(学科長)	教授	ヤマザキ イコ 山崎 郁子	平成24年4月		平成24年4月 前学科長の任期満了により、学科長に就任(24)
専	教授	イタムネロ 生田 宗博	平成23年4月	身体障害作業療法学Ⅰ(神経系) 身体障害作業療法学Ⅲ(全身性障害) 身体障害作業療法学総論 義肢装具学 地域作業療法学Ⅰ(身体障害・老年期障害) 臨床運動学演習 作業療法卒業研究 運動学実習 作業療法学概論						
兼任	講師	イタムネロ 生田 宗博	平成22年9月	作業療法学概論						
専	教授	ハシノ サトシ 橋野 賢	平成22年4月	プレッシャーズゼミ 応用コンピュータⅠ 応用コンピュータⅡ 応用コンピュータ演習Ⅰ 応用コンピュータ演習Ⅱ 作業療法卒業研究						
専	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成23年4月	プレッシャーズゼミ 臨床微生物・免疫学 作業療法研究法 作業療法卒業研究						
兼任	教授	ヤノ カズヨシ 矢野 和義	平成22年4月	プレッシャーズゼミ						
専	准教授	オシマ リュウイチロウ 大島 隆一郎	平成22年4月	プレッシャーズゼミ 人間発達学 発達障害作業療法学演習Ⅰ 発達障害作業療法学演習Ⅱ 地域作業療法学Ⅱ(精神障害・発達障害) 臨床講座Ⅰ 臨床講座Ⅱ 作業療法セミナーⅢ 臨床実習Ⅳ(総合実習) 作業療法卒業研究 臨床実習Ⅲ(総合実習) 臨床実習Ⅱ(評価実習)				平成23年9月	臨床見学	平成23年8月 ●●●●助教就任辞退のため、担当科目の追加(24) 平成23年7月教員審査済(24)
専	准教授	カワチ ミドリ 河渕 緑	平成22年4月	プレッシャーズゼミ 身体障害作業療法学Ⅰ(神経系) 身体障害作業療法学Ⅱ(筋骨格系) 身体障害作業療法学Ⅲ(全身性障害) 身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷) 身体障害作業療法学Ⅵ(感覚器その他) 職業前関連活動学 作業解析学演習 作業療法卒業研究 身体障害作業療法学Ⅴ(老年期障害) 臨床実習Ⅰ(評価実習) 作業療法管理学	専	教授	ナラ ノブヒコ 奈良 進弘	平成25年4月	プレッシャーズゼミ 身体障害作業療法学Ⅰ(神経系) 身体障害作業療法学Ⅱ(筋骨格系) 身体障害作業療法学Ⅲ(全身性障害) 身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷) 身体障害作業療法学Ⅴ(老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅵ(感覚器その他) 職業前関連活動学 作業解析学演習 作業療法卒業研究 作業療法管理学 臨床実習Ⅰ(評価実習)	平成25年3月 ●●●●(准教授)が一身上の都合により退職のため、担当者の変更(25) 平成25年1月教員審査済(25)

<医療保健学部 作業療法学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専	准教授	タマル アキコ 田丸 あき子	平成24年4月	フレッシュヤーズゼミ 身体障害作業療法学Ⅱ (筋骨格系) 身体障害作業療法学Ⅲ (全身性障害) 身体障害作業療法学Ⅳ (外傷熱傷) 身体障害作業療法学Ⅵ (感覚器その他) 職業前関連活動学 臨床講座Ⅰ 臨床講座Ⅱ 作業療法セミナーⅠ 作業療法卒業研究 老年期障害作業療法学 総論 臨床実習Ⅲ(総合実習)	専	兼任	タマル アキコ 田丸 あき子	平成25年4月 平成24年4月	身体障害作業療法学Ⅲ (全身性障害) 身体障害作業療法学Ⅳ (外傷熱傷) 身体障害作業療法学Ⅵ (感覚器その他) 老年期障害作業療法学 総論	平成25年4月 田丸あき子が専任・准教授として就任(25) 平成24年4月から●●●●が准教授として就任することになっていたが、一身上の都合により就任遅延(24) 平成24年度は田丸あき子が兼任講師として授業を担当(24)
					専	准教授	カイ ヒロミ 酒井 弘美	平成24年4月	フレッシュヤーズゼミ	平成24年4月から●●●●が准教授として就任することになっていたが、一身上の都合により就任遅延のため、担当者を変更(24) 平成23年7月教員審査済(24)
専	講師	カシバ ミサト 加柴 美里	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 栄養代謝学						
専	助教	ミツネ マサヒロ 光金 正官	平成23年4月	臨床実習Ⅱ(評価実習) 作業療法セミナーⅡ 作業解析学演習						
専	助教	オスキ ミツグ 小貫 貢	平成23年4月	臨床実習Ⅳ(総合実習) 臨床見学						平成23年4月から●●●●が助教として就任することになっていたが、一身上の都合により就任が遅延(23)。 平成23年8月 ●●●●助教が一身上の都合により就任辞退のため、担当者を変更(24) 平成23年7月教員審査済(24)
					専	准教授	オシマリュウイチロウ 大島隆一郎	平成23年9月	臨床見学	「臨床見学」(2年前期)については、実習先の都合により2年後期に変更(23) 平成23年8月 ●●●●助教が一身上の都合により就任辞退のため、担当者を変更(24) 平成23年7月教員審査済(24)
専	助教	イバシ ヒトミ 石橋 仁美	平成22年4月	臨床実習Ⅰ(評価実習) 心理社会的機能作業療法 法評価学演習						
					専	助教	ニノ ユキコ 西野由希子	平成24年4月	臨床見学 臨床実習Ⅰ (評価実習) 臨床実習Ⅱ (評価実習)	平成24年4月 実習指導体制の充実を図り専任教員(助教)を追加(24) 平成24年1月教員審査済(24)
					専	助教	イシカワ シンイチ 石川 進一	平成24年4月	臨床見学 臨床実習Ⅰ (評価実習) 臨床実習Ⅱ (評価実習)	平成24年4月 実習指導体制の充実を図り専任教員(助教)を追加(24) 平成24年1月教員審査済
兼任	教授	ササキ ジュンコ 佐々木 順子	平成23年4月	公衆衛生学						
兼任	教授	ヤマウラ トモヲ 山浦 富雄	平成22年4月	物理の基礎 数学の基礎 統計学						
兼任	教授	カト ヨシ 加藤 洋	平成22年4月	人体構造学Ⅰ 人体構造学Ⅱ 解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ 病理・組織学演習 病理学						
兼任	教授	シハラ カズヒコ 篠原 一彦	平成24年4月	医療安全・人間工学概論 先端医療総合講義						
兼任	准教授	ミチ ヒロカ 宮地 寛登	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 生物の基礎						
兼任	講師	ナミ ジュンコ 南 順子	平成22年9月	解剖学実習Ⅰ 解剖学実習Ⅱ						

<医療保健学部 作業療法学科>

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
兼任	講師	シズミ ミミ 志水 美文	平成22年4月	医療科学の基礎Ⅰ 医療科学の基礎Ⅱ 化学の基礎 生理学実習						
兼任	教授	カクラ ケロ 鎌倉 恵子	平成23年4月	一般臨床医学 神経内科学 リハビリテーション医学						
兼任	教授	カヤマ タカ 中山 孝	平成22年9月	運動学						
兼任	准教授	イタノ ケイタ 石黒 圭広	平成23年4月	リハビリテーション工学 運動学実習						
兼任	教授	シノダ ミコ 篠田 峯子	平成22年4月	精神障害作業療法学総論 精神障害作業療法学各論Ⅱ(疾患・障害別) 心理社会的障害日常生活活動学演習 作業療法研究法 コミュニケーション演習 コミュニケーション実習	専	准教授	カイ ヒロミ 酒井 弘美	平成24年4月	作業療法研究法	平成23年3月 ●●●●兼任・教授が一人上の都合により退職のため。「精神障害作業療法学総論」(2年次)については、平成23年度より岩井和子(兼任・講師)に担当者を変更。 (23)他の科目については、科目開設時まで兼任・講師を採用する予定(23) 平成23年3月 ●●●●兼任・教授が退職のため平成24年度から担当者を変更(24)担当 酒井弘美 准教授 平成23年7月教員審査済(24) 「コミュニケーション演習」「コミュニケーション実習」については、他に教授が担当しているため支障はない(24)
					兼任	講師	イワイ カズコ 岩井 和子	平成24年4月	精神障害作業療法学各論Ⅱ(疾患・障害別) 精神障害作業療法学総論	
					兼任	講師	ノダキヨコ 埜崎都代子	平成24年4月	心理社会的障害日常生活活動学演習	
							後任未定		コミュニケーション演習 コミュニケーション実習	
兼任	教授	クダウ マサヒロ 工藤 昌宏	平成22年4月	経済学						
兼任	教授	オホ マサヒロ 奥 正廣	平成22年9月	心理学 コミュニケーション論						
兼任	教授	ヤマカ シンペイ 山岡 俊平	平成22年9月	基礎作業療法技法実習Ⅰ 基礎作業療法技法実習Ⅱ						
兼任	教授	カウチ シュウイチ 黒川 修一	平成22年4月	芸術論						
兼任	教授	タカハシ キヨシ 高橋 潔	平成22年4月	コンピュータリテラシー演習Ⅰ コンピュータリテラシー演習Ⅱ コンピュータ概論Ⅰ コンピュータ概論Ⅱ						
兼任	教授	サタマ ユウジ 佐久間 裕司	平成22年9月	スポーツ・コンディショニング 集中実技Ⅱ						
兼任	教授	オノキ ヒロキ 尾崎 弘之	平成23年9月	医療経済学						
兼任	教授	タカミ スミ 田中 寿美	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュⅠ フレッシュマンイングリッシュⅡ 英語インテンシブⅠ 英語インテンシブⅡ						
兼任	准教授	オチアイ コウタロウ 落合 浩太郎	平成22年4月	政治学						
兼任	助教	ヨシタ シンイチ 吉田 真一	平成24年4月	臨床運動学演習						
兼任	准教授	マツイ タシロ 松井 泰二	平成22年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	兼任	講師	アノハ ヒサカ 安部 久貴	平成24年4月	栄養と健康 集中実技Ⅰ	平成24年3月 ●●●●(兼任・准教授)が退職のため、平成24年度より担当者を変更(24)
兼任	講師	ムカミ ヤスシロウ 村上 康二郎	平成22年9月	法学						
兼任	講師	サトウ カズエ 佐藤 和恵	平成23年9月	臨床薬理学						

<医療保健学部 作業療法学科>

設置時の計画				変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月		授業担当科目名
兼任	講師	タケミ ユウジ 垂水 雄二	平成22年9月	生命倫理	兼任	講師	オカノ ヒロシ 岡野 浩	平成25年4月	生命倫理	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)
兼任	講師	トクモト コトヨ 徳元 琴代	平成22年9月	科学論	兼任	講師	ミズヅチ ヒカリ 水沢 光	平成25年4月	科学論	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)
兼任	講師	タケウチ シンイチ 竹内 真一	平成23年9月	画像評価学						
兼任	講師	ヤマカミ ユリコ 山川 百合子	平成23年4月	精神医学	兼任	講師	シバタ ヤシロ 繁田 雅弘 タカハシ マサキ 高橋 正雄	平成25年4月 平成24年4月	精神医学	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が辞任のため、平成25年度より担当者の変更(25) 平成24年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成24年度より担当者を変更(24)
兼任	講師	ナカガワ アキヒロ 中川 明博	平成22年4月	哲学						
兼任	講師	ニシメキ ジョウジ 西巻 丈児	平成23年9月	倫理学						
兼任	講師	ウケモト ナホ 塚本 尚子	平成23年9月	臨床心理学	兼任	講師	キシ タツマ 岸 竜馬	平成24年4月	臨床心理学	平成24年3月 ●●●●(兼任・講師)が一身上の都合により辞任のため、平成24年度より担当者を変更(24)
兼任	講師	トマベチ シ 苔米地 伸	平成23年4月	家族社会学						
兼任	講師	エノリ ジュンイチ 江川 純一	平成23年4月	宗教学						
兼任	講師	スコット スペンサー Scott Spencer	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュI フレッシュマンイングリッシュII						
兼任	講師	マリナ バイクスト Marina Byquist	平成22年4月	フレッシュマンイングリッシュI フレッシュマンイングリッシュII						
兼任	講師	ノダ セイジ 野田 雅司	平成25年9月	医療情報演習						
兼任	講師	カムラ ヨウイチロウ 加村 壮一郎	平成23年4月	整形外科学	兼任	講師	イシガワ トモシ 石川 知志	平成25年4月	整形外科学	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)
兼任	講師	スズキ ヒサハル 鈴木 文晴	平成23年9月	小児科学	兼任	講師	ウシジマ ヒロユキ 牛島 寛治	平成25年4月	小児科学	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が辞任のため、平成25年度より担当者を変更(25)
兼任	講師	ハマノウエ マコト 浜之上 誠	平成22年4月	生理学I 生理学II 生理学実習						
兼任	講師	カガモト ミツコ 株本 光子	平成22年9月	文章表現リテラシー	兼任	講師	ヤマガタ ヨシコ 山田 佳子 マツムラ ユキコ 松村由紀子	平成25年4月 平成22年9月	文章表現リテラシー	平成25年3月 ●●●●(兼任・講師)が辞任のため、平成25年9月より担当者の変更(25) 平成22年8月●●●●兼任・講師が辞任のため、平成22年9月より担当者の変更(23)
兼任	講師	カナ ヒロコ 川名 裕子	平成24年9月	地域作業療法学II(精神障害・発達障害) 作業療法セミナーIV	兼任	講師	ノダキ トヨコ 埜崎都代子	平成25年9月	作業療法セミナーIV	平成25年3月 ●●●●兼任・講師が辞任のため、平成25年9月より担当者の変更(25)
兼任	講師	オスキ カズヨ 小貫 量代	平成22年9月	基礎作業療法技法実習I 身体障害作業療法学V(老年期障害)						
兼任	講師	イシヅカ カズエ 石澤 和絵	平成23年9月	臨床講座I 臨床実習I(評価実習) 臨床実習II(評価実習)						

<医療保健学部 作業療法学科>

設置時の計画				変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	授業担当科目名	
専任補充						サカイ ヒロミ 酒井 弘美 後任未定	平成24年4月	地域作業療法学Ⅰ (身体障害・老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅳ (外傷熱傷) 地域作業療法学Ⅰ (身体障害・老年期障害) 身体障害作業療法学Ⅳ (外傷熱傷) 高次脳機能障害作業療法学 フレッシュャーズゼミ 運動学実習 作業療法管理学 作業療法学概論 作業療法研究法 作業療法卒業研究 臨床見学 臨床実習Ⅳ(総合実習)	「地域作業療法学Ⅰ」(3年次後期)、「身体障害作業療法学Ⅳ」(3年次後期)は、●●●●が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設時までに教員審査を受け専任を補充する。(22) 「高次脳機能障害作業療法学」(3年次後期)は、●●●●が担当することを予定していたが、教員審査の判定が「不可」となったため、科目開設時までに教員審査を受け専任を補充する。(22) 上記(22)は平成23年度も同様(23)
専任補充								高次脳機能障害作業療法学	平成24年4月 専任教員(准教授)補充(24) 平成23年7月及び平成24年1月教員審査済(24)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成25年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(A.C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

<医療保健学部 作業療法学科>

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
5	3	1	3	12	6	3	1	4	14	65	4
(4)	(2)	(1)	(1)	(8)	[1]	[0]	[0]	[1]	[2]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	助教	●●●●	平成23年8月、一身上の都合により就任辞退。(24)
2	准教授	●●●●	一身上の都合により、就任遅延。(24)
3	准教授	●●●●	一身上の都合により、退職。(25)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>●●●●(助教)が担当することとなっていた科目については、酒井弘美(准教授)及び大島隆一郎(准教授)がそれぞれ担当し、認可時の計画どおり全科目を開講していることから、支障はないと考える。(24)</p> <p>●●●●(准教授)が担当することとなっていたそれぞれの科目については、田丸本人が兼任講師として担当、あるいは担当が「可」となっている他の教員が対応するなどして認可時の計画どおり全科目を開講していることから、特に支障はないと考える。(24)</p> <p>●●●●(准教授)が担当することとなっていた科目については、奈良進弘(教授)が担当し、設置時の計画どおり全科目を開講していることから支障はないと考える。(25)</p>

- (注) ・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

<デザイン学部デザイン学科>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (21年10月)	1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っている。学生に対しては八王子キャンパスの運動施設についても周知しており、希望学生からの事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている。 (24) 上記(24)は平成25年度も同様(25)	
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月) (24年2月) (25年2月)	該当なし 該当なし 該当なし		

<医療保健学部>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (21年10月)	<看護学科> 1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っている。学生に対しては八王子キャンパスの運動施設についても周知しており、希望学生からの事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている。 (24) 上記(24)は平成25年度も同様(25)	

<医療保健学部>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (21年10月)	<臨床工学科> 1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っている。学生に対しては八王子キャンパスの運動施設についても周知しており、希望学生からの事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている。 (24) 上記(24)は平成25年度も同様(25)	
設 置 時 (21年10月)	<理学療法学科> 1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。 2. 専任教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時まで確実に専任教員を配置すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っている。学生に対しては八王子キャンパスの運動施設についても周知しており、希望学生からの事前の申請により、蒲田-八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている。 (24) 上記(24)は平成25年度も同様(25) 「地域理学療法学」(4年次後期)、「住宅環境論」(4年次前期)については、それぞれ科目開設時まで専任教員を配置する。(22) 「地域理学療法学」(4年次後期)、「住宅環境論」(4年次前期)については、平成23年7月変更書を提出したが不可となった。科目開設時まで専任教員を配置すべく平成24年7月変更書提出予定。(24) 平成25年4月専任・教授1名を配置し、両科目を開設する。(25) 担当 牧田光代(教授) 平成24年7月教員審査済 「地域理学療法学」(4年次後期) 「住宅環境論」(4年次前期)	

<医療保健学部>

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (21年10月)	<作業療法学科> 1. 運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	蒲田と八王子キャンパス間にスクールバスを運行して、学生の課外活動に配慮している。 運行時間 八王子発 9:30 18:00 蒲田着 11:30 20:00 蒲田発 13:00 20:00 八王子着 15:00 22:00 今後も学生の利用状況により継続的に適切な運行時間を検討する。(22) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っているが、八王子キャンパスの運動施設も利用できるように、事前の申請により、蒲田―八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている(23) 蒲田キャンパスの学生は、キャンパス内又は近隣の公共施設を利用して課外活動を行っている。学生に対しては八王子キャンパスの運動施設についても周知しており、希望学生からの事前の申請により、蒲田―八王子キャンパス間でスクールバスを運行することとしている。 (24) 上記(24)は平成25年度も同様(25)	
設 置 時 (21年10月)	2. 専任教員の補充を必要とされた3授業科目については、科目開設時まで確実に専任教員を配置すること。	「地域作業療法学Ⅰ(身体障害・老年期障害)」(3年次後期)、「身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷)」(3年次後期)、「高次脳機能障害作業療法学」(3年次後期)については、それぞれ科目開設時まで専任教員を配置する。(22) 平成24年4月専任・准教授1名を配置し、すべての科目を開設する。(24) 担当 酒井弘美(准教授) 平成23年7月教員審査済 「高次脳機能障害作業療法学」(3年次後期) 平成24年1月教員審査済 「地域作業療法学Ⅰ(身体障害・老年期障害)」(3年次後期)、「身体障害作業療法学Ⅳ(外傷熱傷)」(3年次後期)	
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月) (24年2月) (25年2月)	該当なし 該当なし 該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。(認可で設置された学部学科等のみ。)
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<デザイン学部> 「該当なし」

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

<医療保健学部>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																
履修科目の登録上限単位数 48単位（年間）	<p>医療保健学部の理念実現のため、専門教育の充実のみでなく、ICT教育をはじめとする基礎教育の履修機会を増やした。</p> <p>履修科目の登録上限単位数 50単位（年間）</p> <p>保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正（平成23年4月施行）に伴い、平成23年4月から、看護師及び保健師国家試験受験資格を修得する者の単位数を改正した。</p> <p>看護学科の卒業要件単位数</p> <table> <tr> <td>基礎教育科目</td> <td>18単位</td> </tr> <tr> <td>専門基礎科目</td> <td>32単位</td> </tr> <tr> <td>専門科目</td> <td>78単位</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>128単位</td> </tr> </table> <p>（看護師国家試験受験資格のみを修得する者）</p> <table> <tr> <td>基礎教育科目</td> <td>18単位</td> </tr> <tr> <td>専門基礎科目</td> <td>35単位</td> </tr> <tr> <td>専門科目</td> <td>82単位</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>135単位</td> </tr> </table> <p>（看護師及び保健師国家試験受験資格を修得する者）</p>	基礎教育科目	18単位	専門基礎科目	32単位	専門科目	78単位	計	128単位	基礎教育科目	18単位	専門基礎科目	35単位	専門科目	82単位	計	135単位
基礎教育科目	18単位																
専門基礎科目	32単位																
専門科目	78単位																
計	128単位																
基礎教育科目	18単位																
専門基礎科目	35単位																
専門科目	82単位																
計	135単位																

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<デザイン学部><医療保健学部>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成22年度までは、学長室を中心として東京工科大学学長室会議（以下「学長室会議」）と連携して、全学的なFDに取り組んできたが、平成23年度からは、全学的な委員会として「FD委員会」を設置した。

平成23年度からは、「学長室会議」を「東京工科大学企画推進会議」（以下「企画推進会議」）と改め、教員の資質維持・向上を含め全学的な諸改革の推進について検討を行った。

平成24年度は、企画推進会議及び教育力強化委員会の連携による教員の資質向上を継続するとともに、教育力強化委員会主導で実施している教員相互の授業点検において高評価を得た教員を中心とする「新教育教授法研究会」を発足し、更なる教員資質の向上を目指すこととしている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・企画推進会議は、原則として月2回開催し、学長、研究科長、各学部長、学長補佐、教務部長、学生部長、事務局長、学長室長で構成している。

・平成22年度は、全15回開催し、欠席教員は4名とほぼ全員出席のもと会議を開催することができた。

・平成23年度は、企画推進会議を11回、FD委員会（教務部長、学生部長、各学部から1名、研究科から1名、学長室、事務局職員で構成）を3回開催し、欠席教員数は企画推進会議で延べ9名、FD委員会では延べ4名とほぼ全構成員出席のもとで開催することができた。

・平成24年度は、企画推進会議を10回、教育力強化委員会（学長、教務部長、各学部長、学環長、各教務委員長、学長室、事務局職員で構成）を4回開催し、欠席教員数は企画推進会議で延べ6名、教育力強化委員会では延べ13名であった。

また、新教育教授法研究会（学長、教務部長、学部長・学環長から推薦された教員各2名で構成）の第1回を3月に、第2回を平成25年5月に開催した。

c 委員会の審議事項等

企画推進会議では、別に組織している教育力強化委員会からの報告を受け、FDに関する様々な取組み（教員相互の授業参観、ティーチングレポートの活用）について審議してきた。

FD委員会においては、基本的には企画推進会議における審議事項を継承するとともに、一層の内容充実やSDを含む新たな企画について審議することとしている。

平成23年度に設置したFD委員会では、FD・SDとして開催している全学教職員会において、教育力向上に関わる教育方針や教職員が共通して認識しておくべき事項等、全学教職員会の運営に関する事項を中心に審議を行った。

また、企画推進会議においては、FD委員会や教員相互の授業点検について検討している教育力強化委員会からの報告を基に、教育全般に関する事項を中心に審議を行った。

平成24年度は、医療保健学部、デザイン学部ともに教員相互の授業点検が講師以上の専任教員についてほぼ1巡したことから、教育力強化委員会において今後の方針等を確認し、平成25年度後期からの2巡目をより適正に実施できるよう努めることとしている。

また、企画推進会議では、教員の教育力に関し各学部・学環が抱える課題等を共有し、教員資質の維持・向上について審議・意見交換を行った。

② 実施状況

a 実施内容

- ・教員相互の授業参観（授業点検・評価）
- ・新任教員研修会
- ・全学教職員会
- ・アゴラ

b 実施方法、c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教員相互の授業参観

デザイン学部及び医療保健学部では、平成22年度後期から各学部2科目の授業参観を実施した。実施については、学部長、教務委員等数名の教員で授業評価表をもとに客観的な評価を行った。

平成23年度においては、デザイン学部で前期3科目、後期3科目、医療保健学部で前期4科目、後期4科目の授業点検を実施した。実施方法としては、前述の学部長、教務委員会委員等数名の教員による客観的な評価を基に当該教員との面談を実施することにより、即効性のある授業改善を目指している。

平成24年度においては、デザイン学部で前期4科目、後期3科目、医療保健学部で前期・後期ともに8科目の授業点検を実施した。実施方法としては、平成23年度と同様の方法により実施した。

・新任教員研修会

毎年、デザイン学部及び医療保健学部の全教員及び助手を対象に実施し、学長から、本学の理念・目標の共有や教育研究に関する事項について研修会を実施している。

実施状況は、以下のとおりである。

平成22年度 4月1日、2日（両日とも全員参加）
平成23年度 4月1日（全員参加）
平成24年度 4月3日（全員参加）
平成25年度 4月1日（全員参加）

・全学教職員会

平成22年度4月に第1回全学教職員会を「2キャンパスの大学運営及び今後の重要課題」というテーマで開催した。第2回目以降は「学生のメンタルヘルス」「学生サポート」等をテーマに全9回開催し、デザイン学部及び医療保健学部の教員の90%が参加した。

平成23年度は、「アクティブラーニング」、「就業力育成」を主眼として全10回開催した。内容としては、本学として取り組むべき課題等を共用するため、外部講師を招いて「アクティブラーニングについて」、「総合力ラーニング」、「就業力をどう育成するか」、「キャリア形成支援から就職支援へ」と題した講演も開催した。全10回の全学教職員会にはデザイン学部及び医療保健学部で80%以上の参加率となっている。

平成24年度は、学生の就業力強化のための「アクティブラーニング」や「サービスマーケティング」さらには具体的な就職支援等に関し外部講師を招いて取組み事例の紹介等を中心に全10回開催した。全10回の全学教職員会にはデザイン学部及び医療保健学部で80%以上の参加率となった。

・アゴラ

教育・研究の討論の場として、各学部で全教員を対象としたアゴラを月1回開催している。

平成22年度はデザイン学部で6回、医療保健学部で5回アゴラを開催し、主に教育に係わる討論を行った。

平成23年度は、デザイン学部及び医療保健学部ともに7回のアゴラを開催した。

両学部とも、授業改善に向けた討議に加え、学年進行が進んでいることもあり、就職支援等についても討論した。

平成24年度は、デザイン学部、医療保健学部ともに8回のアゴラを開催した。両学部ともに授業改善の方策を始め、アクティブラーニングによる授業の展開について検討するとともに、完成年度をむかえたことにより、デザイン学部においては就職支援の強化、医療保健学部においては国家試験対策等、第1期生の就職に関しても議論を行った。

c 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

既設学部で行なっている教員相互の授業参観では、評価結果をまとめ全学教職員会で全教職員に報告し、授業改善に向けてのディスカッションを行なった。その際の反省点を踏まえて、授業点検項目等の見直しを行なっている。

平成22年度後期から、デザイン学部及び医療保健学部においても既設学部で行なっている教員相互の授業参観を実施し、授業改善に向けての検討を開始した。

平成23年度は、デザイン学部及び医療保健学部において当初の予定どおり授業評価と授業点検を実施し、学生、教員双方からの評価を基にした授業改善について検討することができた。

特に評価の低い教員については、改善点等を指導することにより、効果的な授業改善を検討できる機会となっている。

平成24年度においても、デザイン学部及び医療保健学部で当初の予定どおり授業評価と授業点検を実施し、教員の資質向上に資することができた。特に両学部とも平成25年度前期の授業点検で助教を除く全教員の授業点検が終了し、後期からは2巡目の授業点検が開始される。1巡目の授業点検結果を踏まえた授業の改善がなされ、更なる教員の資質、教育力の向上が期待できる。

本学としては、授業の方法としてアクティブラーニングを推進している。八王子キャンパスにおいては、平成25年度からアクティブラーニングセンターを整備し、学生参加型の授業を展開する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無

平成22年度は、当初の予定どおりデザイン学部及び医療保健学部の前期・後期開講科目について授業評価アンケートを実施した。

平成23年度においても、当初の予定どおり授業評価アンケートを実施した。

平成24年度においても、当初の予定どおり全開講科目について授業評価アンケートを実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートは、本学独自のシステムを使用する方法及びマークシートによる方法の2種により実施しているが、医療保健学部、デザイン学部の2学部については、マークシートにより実施している。

医療保健学部及びデザイン学部の教員には、マークシートの集計結果を紙媒体で当該教員にフィードバックし、担当している授業に関する学生からの評価を確認・検証することで、教員自らの授業改善に資することとしている。

また、当該学部長には、学部所属教員の授業評価アンケート結果すべてを配布しており、学部における授業改善にも資することとしている。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<デザイン学部><医療保健学部>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「デザイン学部」では、デザイン教育の原点である感性教育に重点をおき、さらに21世紀型社会が求めるスキル教育を行い、それらを融合した新しいデザイン教育を行う。幅広い分野を修得する独自のカリキュラム体系の中で、デザインの総合性や横断的な思考を身につけ、21世紀型未来デザインを目指して、新しい人間の「すがた・かたち」「しくみ・しかけ」を創出することを目的として、視覚、映像、空間を対象としたデザイン分野を中心に21世紀型生活創造者の育成を行なう。

デザイン学部デザイン学科は、「視覚と伝達」「映像と構成」「空間と演出」という3コースからなる1学部1学科3コースとした。

科目区分は、基礎教育科目と専門教育科目とし、卒業要件は124単位とする。

デザイン学部は、上記の設置の趣旨を踏まえ、3コースの特色を活かした実践教育の目的を達成すべく、1年次の教育を開始すると共に、2年次以降の準備を進めている。

平成23年度は、1・2年次の「感性演習Ⅰ・Ⅱ」及び2年次の「スキル演習Ⅰ」を行った。3年次の「専門演習Ⅰ・Ⅱ」について、感性演習で習得した基礎的な感性表現力や手法に、スキル演習で習得した技術を融合させ、デザインの専門分野となる視覚、映像、空間を横断的に学べるような演習内容を検討した。

平成23年度までは、デザイン学部の目指す感性教育の基礎として、「感性演習」によるデザイン基礎力の養成、「スキル演習」による機器を活用した表現技術基礎の習得について教育を行った。平成24年度は、専門分野となる視覚、映像、空間というデザインの専門性と総合性を「専門演習Ⅰ」で養い、「専門演習Ⅱ」では、視覚、映像、空間からひとつを選択することで更に専門性を深めるための演習を行った。

「医療保健学部」では、自立した医療職として専門的知識、技術に加えて、患者という人生経験豊かで病を得ている人に対応できる人間として優れた人格と社会的視野を有する社会人であることが強く求められていることから、これらの人材を育成する。

看護師、保健師、リハビリテーションにおける理学療法士、作業療法士及びこれからの医療機器管理の技術者としての臨床工学技士の需要は一層増加し、しかもこれからの医療専門職の育成には、従来の専門学校における教育を超えた大学教育がより望ましい現状にある。

医療保健学部は、看護学科、臨床工学科、理学療法学科、作業療法学科の4学科を設置した。科目区分は基礎教育科目、専門教育科目、専門科目とし、卒業要件単位数は各学科とも128単位とする。各医療職の国家試験受験資格に定められたすべての必修科目等を修了し、単位を修得することも卒業要件とする。

また、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正（平成23年4月施行）に伴い、平成23年4月から、看護師及び保健師国家試験受験資格を修得する者の卒業要件単位数を135単位とした。

医療保健学部は、上記の設置の趣旨を踏まえ、看護学科、臨床工学科、理学療法学及び作業療法学科において、各々の学科の特色を活かした実践教育の目的を達成すべく1・2年次の教育運営と共に、3年次以降の準備を進めている。

平成23年度は、医療保健学部各学科における2年次の短期間の臨地・臨床実習が始まった。また、3年次の長期間の実践的な実習に向けて、学生への事前指導や施設との連携を行い、実習指導者会議の開催に向けて準備を行った。

平成24年度は、1・2年次から臨地・臨床実習を行った看護学科、理学療法学科、作業療法学科に加え、臨床工学科が臨床実習を行い、4学科の学生が医療現場を直接経験することにより、基本的知識・技術・マナー等を習得し、医療専門職としての自覚を持つことができた。

医療保健学部では、①自立した医療専門職の育成、②人類愛と国際的視野に基づく奉仕精神の涵養、③絶えざる向上の意志と生涯学習の精神の養成を理念として掲げている。3年次までの教育、さらに平成25年度（完成年度）における臨地・臨床実習をはじめとする専門教育、卒業研究をとおして理念を実践する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成27年3月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、他大学等に各1冊を配布

・大学ホームページ上に公開予定（平成27年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成26年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
- また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
- なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ()